

# 環境経営レポート

## 2019年版

〈2018年3月1日～2019年2月28日〉



### 来ハトメ工業株式会社



1. はじめに		2
2. 会社概要		3
1) 登録事業者の概要		
2) 沿革①(当社72年の軌跡)		
3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ)		
4) 当社従業員紹介		
3. 実施体制		14
1) EA21環境経営組織図		
2) 役割責任及び権限		
3) 2018年度の変更点		
4. 環境経営方針		15
5. PDCAで見る環境関連法規遵守の取組		17
1)  法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs		
2)  法規制遵守状況のチェック結果		
3)  違反・訴訟の有無		
4)  法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容		
5)  法規制遵守の取組に関する代表者の見直し・指示		
6. PDCAで見る緊急事態の想定とその対応策		21
1)  想定させる緊急事態		
2)  環境経営計画とSDGs		
3)  緊急事態の対応及び訓練状況		
4)  緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容		
5)  緊急事態の想定・訓練に関する代表者の見直し・指示		
7. 数字で見る2018年環境活動		23
1) 過去5年間の環境負荷の実績		
2) 2018年度の実績と達成状況		
8. PDCAで見る2018年環境活動		25
9. 代表者レビュー		49

## 来ハトメ環境トピックス 目次

① SDGsをみんなのものに～「私のSDGs」とは？	12
② SDGsは徐々に定着!?～2度目の私のSDGsのふり返り～	13
③ 当社環境経営方針はこうして作られた～課題とチャンス、そしてマテリアリティ分析～	16
④ 「課題とチャンス」でその他の活動も充実～2018年度に追加された新たな取組～	44
⑤ 当社発「私のSDGs」布教のチャンス!～セミナー講演奮闘記～	46

## アイコン ( ) の見方について

エコアクション21ガイドライン(2017年版)要求事項の適合性を明確にするために、主にタイトルの前等に4つのアイコン(Plan(計画)、Do(実施)、Check(確認)、Act(見直し))を付けています。

4つのアイコンは、それぞれ、以下の様な取組であることを示すものです。

- : EA21ガイドライン要求事項1～6(計画の策定(Plan))に該当する取組であることを示します。
- : EA21ガイドライン要求事項7～12(計画の実施(Do))に該当する取組であることを示します。
- : EA21ガイドライン要求事項13(取組状況の把握及び評価(Check))に該当する取組であることを示します。
- : EA21ガイドライン要求事項14(全体の評価と見直し(Act))に該当する取組であることを示します。

## 「酒飲みのひとりごと」

ようやく本業に日が差して来て、従業員の皆様の給料も上げることが出来たと思ったら、二年も続かずに元の本阿弥に。

何とも、景気の足取りは不安定なものです。

不安定と言えば、私も、五月の連休中に中国語学校の新入生歓迎会で大酒飲んで人事不省、前後不覚になって以来、一か月経つのに、頭はフラフラ、足はフラついて、未だに酔っているみたい。おまけに、左の耳の奥で、目覚し時計のベルの音がゲップの出るたびにリンリン鳴って、やかましいのなんの。

年を取るとなかなか酒が醒めないというが、一か月もおかしいのは、やはり普通ではない。

こんな状況がいつまでも続くとは思えないが、人間、弱気になると悪い方悪い方へ考えが傾いていく。

この五月の連休は十連休というかつてない長さだったので、その反動が大きいと思われる。

そのように考えていくと、今の自分の状況は、景気と同じようなもので、好い時もあれば、長く悪い時期が続くときもある。

それでもアキナイで仕事を続けるのがアキナイというもので、これは、先々代の社長、母親から教わった言葉。

景気の話とは別に目覚ましく成果を上げ続けるのが、会社の環境活動。本年は「環境コミュニケーション大賞」において三度目の環境大臣賞を頂き、順風満帆。

こちらの方は、いつでも足取り軽く、少しでもより高いところを目指して進んでもらいたいものだ。

それに引きずられて、社業も上向いてほしいものだ……。

来ハトメ工業株式会社  
取締役会長(EA21代表者) 来 満

# 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

## 1) 登録事業者の概要

### (1) 事業者及び代表者名

事業者名：来ハトメ工業株式会社

代表者名：取締役会長 来 満

### (2) 所在地(本社・工場共に下記住所)

〒340-0822

埼玉県八潮市大瀬203-1(右アクセスマップ参照)

URL <http://www.rai-hatome.co.jp>



### (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者名：環境管理責任者 石原 隆雅

連絡先：TEL 048(995)5138 FAX 048(996)0580

e-mail [yashio@rai-hatome.co.jp](mailto:yashio@rai-hatome.co.jp)

### (4) 事業内容

アルミ製コンデンサー部品及びその他の部品類の製造・販売

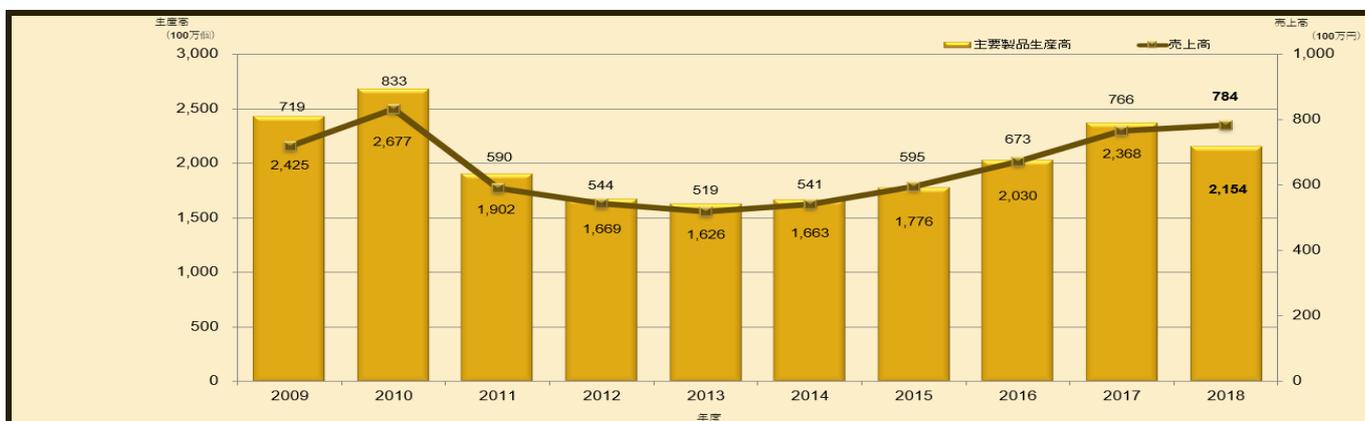
### (5) 創業年月日

1946(昭和21)年3月6日

### (6) 資本金

¥30,000,000

### (7) 事業規模



項目	年 度										単位
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
主要製品生産高	2,425	2,677	1,902	1,669	1,626	1,663	1,776	2,030	2,368	2,154	百万個
売上高	719	833	590	544	519	541	595	673	766	784	百万円
従業員数	41	43	41	41	40	38	37	36	37	35	人
事業所延床面積	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	m <sup>2</sup>
事業所敷地面積	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	m <sup>2</sup>

### (8) 当社主力製品並びに主要取引先

#### ● アルミ電解コンデンサ用アルミケース(売上構成比99%)



我々の豊かな暮らしを支える家電製品や自動車。これらの心臓部とも言うべき基盤部分で、実は当社の製品が活躍していることを、皆様は御存じでしょうか？

電子基板のあちこちで、独特の存在感を放つアルミ電解コンデンサの骨格部分とも言うべきアルミケースこそ、当社の主力製品！なのです。

主要御取引先：日本ケミコン株式会社様他

#### ● 建築金物(写真左)、香水プッシュボタン・ネジ(写真右)(売上構成比1%)

当社が得意とする「アルミ深絞り加工」は、アルミ材料を円筒形に加工する技術。

このアルミ深絞り加工の応用によって誕生したのが、これらの製品群。

主要御取引先： カネダ株式会社(建築金物)  
(有)都プレス工業所(香水)

上記御取引様を通じ、それぞれ、大手メーカー様へ納入しております。



当社製品御採用を御検討中のお客様へ

### だから当社を選んでほしい！～「ハトメ方式」がもつ四つの強み～

#### 1.構造が単純、だから低コスト!

右の写真は小さなプレス機が整然と並び当社製造ラインの様子。見るからに構造が単純そうなこの設備。しかしこれこそ、当社の「強み」の原動力!でもあるのです。



では、単純であることで、どのようなメリットがもたらされるのか——。例えば機械操作が容易、小型で単純な構造の金型にて対応可能、低イニシャルコストなどなど……。実はこのハトメ方式、コストダウンに不可欠な要素を多数兼ね備える、合理的な生産設備!なのです。

更に蛇足ながらこれは環境経営レポートということで、環境面でのメリットも簡単に。省エネ(1台あたり0.75～3.7kW)でしかも、小型なので特定施設(騒音関係)にも当たらない。まさに環境担当者にとっても嬉しい設備!なのです。

#### 2.サイズ切替が簡単

今や「少量多品種、更にジャストインタイム」が求められる時代。こうした御要望への対応を得意とする生産方式こそ、実はこの「ハトメ方式」なのです。

「ハトメ方式」にてサイズ切替に要する時間はL寸法変更のみであれば驚異の数分～1時間。金型の入替を要する変更でも、近いサイズの手持ち金型があれば

数日～一週間で量産可能。「ハトメ方式」は、単一品種の大量生産はもちろんのこと、多品種の少量生産のニーズにも対応可能な生産方式、なのです。

#### 3.防爆弁の信頼性、作動性に優れる

いくらコスト競争力が高く、少量多品種製造が可能なお生産方式であっても、肝心のアルミケースとしての出来がいまいちであれば、当然お話にはなりません。その点につきましても、この「ハトメ方式」、安心してお任せください!!

「ハトメ方式」の利点が特に顕著と言われているのが、「防爆弁付きケース」。ハトメ方式では5～7段階で徐々に平板を加工成形し、その後、防爆弁加工を行うため、弁割れの恐れがありません。また、万一の弁作動時におきましても、「ハトメ方式」にて製造したケースの場合、一瞬で弁作動が起こらず、滑らかに作動するため、安全である、とされています。

#### 4.金型からの一貫生産

そしてこれこそ、当社最大の強み。製品コストの内、非常に大きなウエイトを占めるだけでなく、製品の生命線とも言える金型。当社では、全て自社製造の金型を使用し、アルミケースを生産し、魂のこもった品物をお客様にお届けしています。

だからこそ実現できる低コストと高付加価値の実現。次はこれをお読みのお客様が、当社を選ぶ理由、是非実感して頂ければ幸いです。

## 2.会社概要

### 2) 沿革①(当社72年の軌跡)

1946

～1969

#### 草創期 ～「下町の小さな商社」からの出発～



- 1946 . 3 東京荒川区三河島にて「來商店」創業
- 1952 . 7 「有限会社來商店」と改組
- 1952 . 8 東京都足立区柳原に協力工場設置
- 1953 . 10 東京都葛飾区奥戸本町に協力工場設置
- 1956 . 6 東京都台東区入谷に移転
- 1962 . 12 「有限会社来ハトム店」と改称

1969

～1974

#### 念願の工場設立 ～メーカーへの第一歩～

- 1966 . 3 東京都葛飾区新宿町に「金町工場」設立
- 1971 . 4 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転

1974

～1998

#### 八潮工場設立 ～金属部品メーカーとして大きく発展～



- 1974 . 4 来ハトム工業株式会社と改組。資本金¥10,000,000
- 1975 . 3 増資。資本金¥25,000,000に
- 1990 . 3 本社機能を全て八潮工場へ移管
- 1996 . 3 増資。資本金¥35,000,000に
- 1996 . 6 「ガラス容器用蓋」を開発。特許取得

1998

～現在

#### アルミ材加工专业化、品質環境認証取得、各賞受賞



- 1998 . 3 鉄、真鍮から撤退、アルミ材料専門メーカーになる
- 2004 . 1 炭化水素洗浄設備を導入(業界初)
- 2005 . 7 ISO9001:2000の認証取得
- 2007 . 3 年間売上高10億円を達成
- 2010 . 6 エコアクション21認証取得



- 2012 . 2 第15回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門奨励賞受賞
- 2013 . 3 第16回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門環境大臣賞受賞
- 2015 . 2 第18回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優良賞受賞
- 2015 . 3 第17回彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞
- 2015 . 8 「環境 人づくり企業大賞2014」大賞(環境大臣賞)受賞



- 2016 . 2 第19回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞受賞
- 2016 . 5 「環境 人づくり企業大賞2015」優秀賞受賞
- 2017 . 2 第20回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門環境大臣賞受賞
- 2017 . 7 新製品「段付きリベット」量産開始
- 2018 . 2 第21回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞受賞
- 2019 . 2 第22回環境コミュニケーション大賞環境経営レポート部門環境大臣賞受賞

### 3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ)

2009.12

～2011.2

#### 念願のEA21取得～ただ、がむしゃらに～



- 2009 . 12 エコアクション21取得を目指し本格的に環境活動を開始
- 2010 . 4 紙ごみの有価物化(事業系一般廃棄物量約2t/年削減に貢献)
- 2010 . 6 エコアクション21初回審査(前途多難な船出に)
- 2010 . 8 初の本格的避難訓練実施(写真)
- 2010 . 9 エコアクション21認証取得



2011.2

～2012.2

#### 2年目～節約マインド全開!～



- 2011 . 3 東日本大震災発生
- 2011 . 6 工場内水銀灯をLED式に更新(写真)
- 2011 . - ウェスリユースを開始(洗浄機にて洗浄し、再使用)
- 2011 . 11 湯沸器の水量・ガス量ルール策定



2012.3

～2013.2

#### 3年目～評価を自信に、さらに飛躍～



- 2012 . - 森林認証品の優先購入を開始(生物多様性保全のための取組の一環として)
- 2012 . 4 材料つなぎ教育開始
- 2012 . 6 窓用断熱フィルム施工
- 2012 . 8 デマンドコントローラー導入(写真)



2013.3

～2014.2

#### 4年目～低迷する本業に環境活動が「喝!!」～



- 2013 . 3 ストレッチフィルムの有価物化
- 2013 . 6 節電を成功させるための勉強会実施(写真)
- 2013 . 6 『平成25年版環境白書』に当社事例紹介される
- 2013 . 10 実車によるエコドライブ講習初実施
- 2014 . 1 全員参加の5S活動を開始



2014.3

～2015.2

#### 5年目～洗浄機更新で念願の「重油不使用」へ～



- 2014 . 3 視覚的「見える化」ボード完成(写真)
- 2014 . 8 洗浄機更新により、重油不使用を実現
- 2014 . 10 『日経エコロジー』(日経BP社)にて当社事例掲載



2015.3

～2016.2

#### 6年目～実りの年!しかし、手は抜かず～



- 2015 . 7 『埼玉ビジネスウォッチ』(テレビ埼玉)にて当社活動事例紹介(写真)
- 2015 . 9 社内蛍光灯の9割(約200本)をLED化
- 2015 . 12 『中小企業が環境をダシに儲ける本』(日経BP社)に掲載



2016.3

～2017.2

#### 7年目～車載品質と環境活動との葛藤～



- 2016 . 5 社用車1台をハイブリッド車に更新
- 2016 . 10 製造ライン清掃、潤滑油全交換を実施
- 2016 . 11 PCB廃棄物(コンデンサ)の処理が完了(写真)



2017.3

～2018.2

#### 8年目～SDGsに挑戦、環境活動「新時代」へ～



- 2017 . 9 国連持続可能な開発目標(SDGs)ケーススタディ(環境省)に参加
- 2017 . 9 SDGsキックオフミーティング(写真)開催(SDGsへの取組開始)
- 2017 . 11 電力事業者変更(CO<sub>2</sub>排出係数0.0tCO<sub>2</sub>/kWhの電力購入へ)
- 2018 . 1 全ての社用車のハイブリッド車化完了



## 4) 当社従業員紹介

### (1) プレスの個性を引き出す「名指揮者たち」 ～プレスオペレーター～

日量1,000万個の生産を可能とする当社自慢のアルミケース製造ライン。そこを主戦場とするのが5名のプレスオペレーター。

機械と言えども143台それぞれに違った個性(クセ)を持つ当社のプレス達。それを熟知し、能力を引き出すさまは「名指揮者」そのもの。そんな彼らの仕事ぶり、とくにご覧あれ。

 加茂 隆弘	①	13年目	②	—				
	③	廃棄物(事業系一般廃棄物)、緊急事態(油漏出訓練)						
		ミスなく仕事する。						
	④							
 加藤 直	①	13年目	②	—				
	③	廃棄物(廃アルミ)、環境ボランティア						
		マイバック、マイバスケットを使う。						
	④	ペットボトルキャップを分別する。						
 田辺 栄一	①	13年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)						
		家庭から出るゴミを減らす。						
	④	ムダなものは買わない。						
	買い物時、エコバックを持参する。							
	休みの日の車利用を控える。							
 セノ リト アンジェロ	①	7年目	②	—				
	③	廃棄物(産廃(廃ウエス))						
		食べ物を無駄にしない。						
	④	水を無駄にしない。						
 グエン ヴァン トゥアン	①	2年目	②	—				
	③	法規制(第一種特定製品(業務用エアコン等)の点検)						
		おもちゃのリユース、リサイクルに努める。						
	④							

## 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

(2) 「金型からの一貫生産」を可能にする技術力～工作室(金型製造・修理)～  
 当社最大の売りである「金型からの一貫生産」を支える6名の技術者達。

 <p>来 昌伸</p>	<p>① 41年目    ② 代表取締役社長</p> <p>③ 地域貢献(環境ボランティア)</p> <p>エコカー購入を機にエコドライブを極める。</p> <p>④ コンビニ募金、災害時の募金の励行。                      清掃ボランティアの人員の輪を広げる。                      家庭のごみ量を30%程度減少させる。</p>
 <p>有山 浩一郎</p>	<p>① 35年目    ② 取締役工場長</p> <p>③ 廃棄物(紙くず)</p> <p>町内ゴミ0運動に参加する。</p> <p>④ 町内の防犯パトロールに参加する。</p>
 <p>井出 学</p>	<p>① 22年目    ② 製造課長 兼 副工場長</p> <p>③ 廃アルミ(材料歩留まり)</p> <p>エコ運転を心がける。</p> <p>④ 家事を分担する。                      できる限り人に優しくする。</p>
 <p>山崎 洋幸</p>	<p>① 21年目    ② 係長 兼 安全衛生推進者</p> <p>③ 法規制(労働安全衛生)</p> <p>メンテナンスしてモノを長く使う。</p> <p>④ 会社での決め事を確実に実行する。</p>
 <p>宮本 哲次</p>	<p>① 13年目    ② 主任</p> <p>③ 水、有害化学物質(啓発教育)、環境ボランティア</p> <p>プレス、金型の修理技術の向上。</p> <p>④ 地球環境に関する知識を深める。</p>
 <p>来 尊重</p>	<p>① 10年目    ② 主任</p> <p>③ CO<sub>2</sub>(ガソリン)</p> <p>募金を積極的に行う。</p> <p>④ トイレの大小レバーを正しく使用する。                      投資を覚え、実行する。                      お年寄り、子供に優しくする。</p>

## 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

### (3) 「ベストな洗浄」の追求 ～洗浄工程～

目指すは「お客様にとってベストな洗浄」！

それを追求し続ける2名の洗浄プロフェッショナルを御紹介。

 来 淳一郎	①	22年目	②	営業課長				
	③	EA21製造部門責任者、化学物質(潤滑油)他						
	④	エコドライブに努め、給油量を減らす。			3	7	11	13
 斉藤 進	①	14年目	②	—				
	③	化学物質(炭化水素)						
	④	体調管理第一を心がける。			3			

### (4) 様々な業務を一手にこなす～2F管理部門～

 来 満	①	49年目	②	取締役会長 兼 管理部長				
	③	EA21代表者、継続的改善						
	④	会社の前の道路のゴミ拾いを行う。			11	12	15	
		食事のカロリー制限と運動を継続する。 中国語の学習を継続する。			3	4		
 佐々木 勝	①	26年目	②	管理課長				
	③	EA21管理部門責任者、緊急事態(避難訓練)他						
	④	町内のボランティア(ゴミ拾い)に参加。			11	12	15	
		ムダな照明はつけない、消し忘れをしない。 一日一万歩歩く。 2台所有のバイクを1台にする。			7	12	13	15
 石原 隆雅	①	14年目	②	係長 兼 ISO9001管理責任者				
	③	EA21環境管理責任者、法規制、生物多様性他						
	④	資格試験に向けての勉強を続ける。			4			
		週に1度はエコカー通勤。 土日は嫁に代わって料理をする。 地元消防団活動へ積極的に参加する。			7	12	13	15
 来 博行	①	7年目	②	—				
	③	eco検定講座、ペットボトルキャップ収集統括						
	④	当社が2期連続黒字になるよう努力する。			8	9		
		レジ袋を極力もらわないようにする。 ゴルフ、ボーリングのスコアアップに努める。 省燃費運転を実行する。			10	12	13	15

## 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

	<p>① 27年目 ② 主任</p> <p>③ グリーン調達</p> <p>週4回以上、20~30分のウォーキングを行う。</p> <p>エコバックを使用する。</p> <p>④ スーパーで、割り箸、スプーンはもらわない。</p>
<p>福田 則子</p>	
	<p>① 20年目 ② —</p> <p>③ CO<sub>2</sub>(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>省エネ電気機器(掃除機)への買い替え。</p> <p>④ 医者でもらう薬の袋を集金袋としてリユース。 バケツに雨水をためて水遣りなどに有効活用。</p>
<p>岡本 恵子</p>	
	<p>① 20年目 ② —</p> <p>③ CO<sub>2</sub>(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>空き缶、ペットボトルのリサイクル。</p> <p>④ 買い物のときは、エコバックを使う。 足腰を鍛えるため、毎日スクワットをする。</p>
<p>山田 亜由美</p>	
	<p>① 20年目 ② —</p> <p>③ CO<sub>2</sub>(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>ペットボトルをキャップとボトルに分ける。</p> <p>④ 洗顔中の水量に注意する。</p>
<p>安田 ジョセフィーナ</p>	
	<p>① 17年目 ② —</p> <p>③ CO<sub>2</sub>(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>エアコンのON/OFFを頻繁に行わない。</p> <p>④ 扇風機併用など、工夫してエアコンを使う。 牛乳パックはリサイクルへ。</p>
<p>三輪 千鶴</p>	
	<p>① 16年目 ② —</p> <p>③ CO<sub>2</sub>(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>残り物のリメイク(アレンジ)をする。</p> <p>④ 節電に努める(特にトイレ、キッチンの電気)。</p>
<p>稲葉 エリザベス</p>	
	<p>① 15年目 ② —</p> <p>③ CO<sub>2</sub>(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>もっと睡眠をとる。</p> <p>④</p>
<p>山本 マリア</p>	

## 2F管理部門従業員

 大小堀 レオニラ	①	15年目	②	—				
	③	備品コスト意識改善他						
	④	喫煙量を減らす。						
		着なくなった服は、リサイクルへ。						
 大西 百合子	①	13年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	牛乳パックをリサイクルする。						
		お風呂のお湯の再利用をする。						
 田中 ジェバチキ	①	13年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	着なくなった服は、リサイクルへ。						
		ペットボトルのキャップを集める。						
 丹羽 アンジェリカ	①	13年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	買い物に行くとき、車から自転車へ。						
		エコバックを使うようにする。						
 坂本 ルシール	①	12年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	主人の仕事の残りが出るペンキの有効利用。						
 奥山 レアグレース	①	12年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	紙とプラスチックの分別をする。						
		空気がきれいになるように植物を大切にする。						
 大塚 アデリーナ	①	12年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	ペットボトルと缶を分別する。						
		節電に心がける。 (目標達成にベストを尽くす)						

## 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

 深井 美樹	①	10年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	スーパーでのエコバック活用。						
		一日8,000歩歩くようにする。 衣類等のリサイクルを心がける。			 			
 遠藤 フレンシシタ	①	10年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	風呂の残り湯を作業着などの洗濯に使用する。			 			
 星野 ウェンディ	①	2年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	夜は早く寝て電気を使う時間を少なくする。			 	 	 	 
		冷蔵庫を開けっぱなしにしない。			 	 		
 佐藤 ジュリタ	①	2年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)						
	④	お風呂の水の再利用(洗濯、トイレなどに)。			 			
顔写真	①	勤続年数	②	社内役職				
	③	エコアクション21担当項目						
氏名	④	私のSDGs				SDGs アイコン		

### 来ハトメ環境トピックス2018

#### ①SDGsをみんなのものに～「私のSDGs」とは?～

##### SDGsを手にしてみると……

2017年9月、SDGsへの取組開始を高らかに宣言した当社。でも、そんな我々を待ち受けていたものは「恐ろしく高く険しいSDGsという壁」に他なりませんでした。

初めて手にしたSDGsの日本語訳。その量は実に膨大、内容は横文字交りでもっとも難解……。SDGsって「誰一人取り残さない」はずのものなのに、これでは「誰一人ついてこれない」ではないか……。

早くも、いきなりの計画倒れの恐怖が頭をよぎりました。

##### 「私のSDGs」誕生秘話

「SDGsのテーマは経済、社会、環境の3つ。だったら、この3つの目標をスタートにすれば、何も17のゴール169のターゲットを知らなくても、SDGsを使うことができるはず……」。この発想から生まれたのが、当社全従業員が取り組んでいる「私のSDGs」。自分自身の経済、社会、環境に関する年間目標を設定する、それだけでOK! 実に簡単!!

それでも、SDGsのそれにほぼ当てはまってしまいうから、ちょっと不思議。皆様も、難しいことは抜きにして「私のSDGs」からSDGs実践者の仲間入り、果たしてみたいはいかがでしょうか?

## 来ハトメ環境トピックス2018

### ② SDGsは徐々に定着!? ～2度目の私のSDGsのふり返し～

#### 2度目の「私のSDGs」

2017年9月から始まった当社のSDGs。その練習プログラムの一環として始められた「私のSDGs」。「経済・社会・環境に関連する自身の目標を立ててみてください」という事務局の無茶ぶりから、従業員からしてみれば雲をつかむ思いで始まった(始めさせられた)この活動。しかし初年度が終わってみれば全従業員で160個の目標にチャレンジし、その達成度も7.8点(自己評価の平均)と初回にしては上々(?)の結果に。

勢いで始めた割には何ともまとまった結果が出たことに気をよくしたSDGs事務局。「更なる進化」を期待し、前年度に引き続き「私のSDGs」に取り組むことを計画。果たして、結果は事務局の思惑通り!となったのでしょうか?

#### 集まったSDGsは165個

2018年度「私のSDGs」個人目標集計結果

NO.	目標	長期的行動	対前年度	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
1	貧困撲滅	福祉、ボランティア	△6												
2	食料問題解決	食・福祉、食料	△1												
3	健康	福祉、健康、教育	△5												
4	教育	教育	+1												
5	男女平等	教育、福祉	+1												
6	水	環境問題	+2												
7	エネルギー	エネルギー、環境問題	+2												
8	経済成長、労働	福祉、教育、健康	+1												
9	インフラ、産業化	福祉、教育、健康	△0												
10	不平等是正	福祉、教育、健康	+1												
11	都市、居住	福祉、教育、健康	+4												
12	生産、消費	環境問題、福祉、教育、健康	+9												
13	気候変動対策	環境問題	△4												
14	海洋保全	環境問題、福祉、教育、健康	△4												
15	陸域保全	環境問題、福祉、教育、健康	+2												
16	平和、司法	福祉、教育、健康	△1												
17	パートナーシップ	環境問題、福祉、教育、健康	+4												
進捗度平均															

全員分の取組を紐付けしてみると、その合計数(アイコンベース)165個。昨年と比べ5個増加。単純に数だけ見ても若干の増加がみられ、各自それなりに自分の取組を進化させようとする姿が見て取れたのことに、まずは一安心。それだけでなく、事務局を喜ばせるもう一つの要素が、実はこのグラフの中に、含まれていたのです。

それはズバリ、「SDGs17のゴールを完全網羅」できたということ。昨年度、「目標17」(パートナーシップ)について、誰一人目標に取り入れることができませんでした。しかし、今年度はそれを「募金」や「自身が所属するコミュニティ内で行われている活動への積極参加」という形で、見事に目標として具現化。これは、大きな進歩!と言えるのではないのでしょうか。

一つ一つ見ると取組の数にはムラがあり、まだまだ完璧!とはいきませんが、ひとまず全員の力を合わせてSDGsが掲げる17のゴールの全て

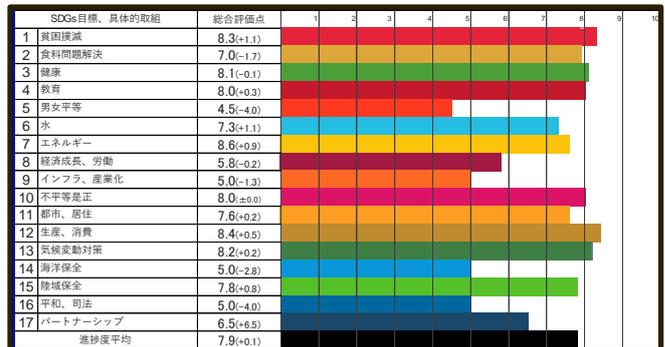
に向き合う体制が確立できたこと。これをSDGs二年目の大きな成果とひとまず捉え、一年間の取組に邁進することとなりました。

#### そして、その結果やいかに?

大変恐縮ですが、この場を借りて個人的な話を一つ。実は私、今年の「私のSDGs」で大失態を演じてしまったのです……。

「週末は嫁に代わって料理する(目標5)」という目標を立てたものの、気づけば計画倒れのまま2018年度が終了……。

自身の失敗の影響におびえつつ、全員の頑張り期待を寄せ行った集計作業。そして、その結果がこちら。



「私のSDGs」ふり返し結果(2018年度)

結果は7.9点と昨年度(7.8点)より0.1ポイント上昇というまずまずの結果でした(「目標5」の評価が異様に低いのは、前述の私の失態のせいに他なりません)。

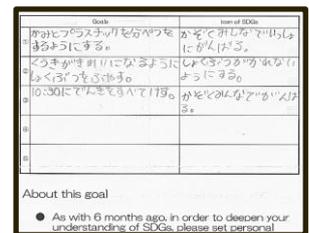
事務局を預かる者が全体の足を引っ張ってしまう結果に……。そんな私の失敗を全力でカバーしてくれたのは従業員全員。感謝に堪えません。またこの失敗を通じ実感したのが、自身の嫁が家族のためにしてくれることの大変さ。痛すぎるけど、とても大切なことに気づかされた、ほろ苦SDGsでした。大いに反省……。

#### 番外編～こんな、うれしい回答も～

フィリピン出身の女性パートの方の「私のSDGs」より。

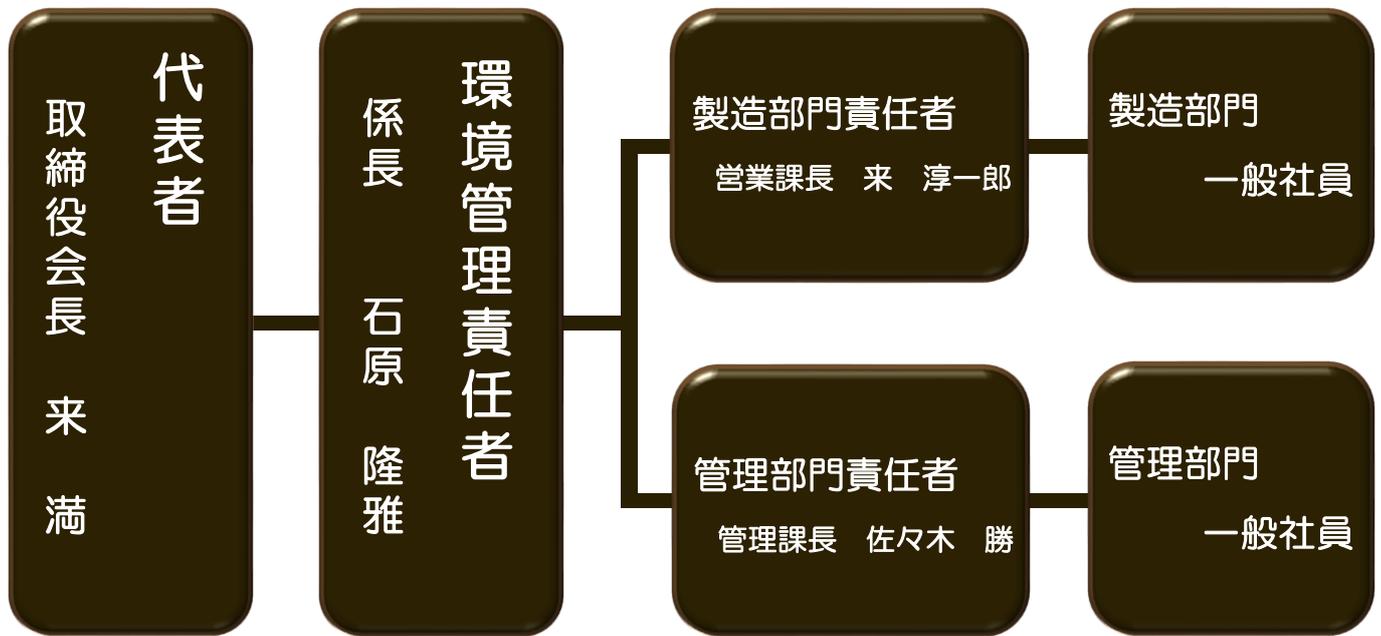
お子様に書いてもらったとおぼしき「かぞくみんなでがんばる」の一言に胸が熱くなりました。

会社の取組として始めた「私のSDGs」。これに家族全員で向き合う決意が伝わってくる、大変嬉しい「私のSDGs」の御紹介、でした。



Plan  
計画

## 1) EA21環境経営組織図



## 2) 役割責任及び権限

役割(職位)	責任 及び 権限
代表者	1 . 環境方針の制定、制約及び従業員への周知 2 . 環境管理責任者の任命 3 . 環境経営資源の確保 4 . 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示 5 . 全体の取組状況の評価と見直し、並びに指示
環境管理責任者	1 . エコアクション21活動全般の施策・運用 2 . エコアクション21の実施記録を経営者に報告 3 . 各種環境関連文書の記録の管理 4 . 環境関連法規の遵守に関する教育 5 . 環境活動レポートの作成、公表
製造(管理)部門責任者	1 . 環境目標に即した自部門の環境活動計画の策定・実施 2 . 自部門の環境活動計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
(各部門)一般社員	1 . 各担当項目の施策策定及び施策の実施 2 . 各担当項目の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 担当項目以外の環境保全活動への協力 4 . 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5 . 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6 . 各家庭における環境教育の実施

## 3) 2018年度の変更点

実施体制における2018年度の変更部分はありません。

### Plan 計画

当社の社業である金属製品製造には、多量の天然資源やエネルギーの使用が不可欠です。そのため、事業を永続的なものとするためには、これらの持続可能な利用に資するための活動、すなわち、環境保全活動への積極的な取組が大きな鍵を握るものと考えます。

当社は、従業員の自主性に基づく環境保全活動を通じ、環境負荷の低減と御得意先様の満足、更には従業員の成長を実現させつつ、社業を持続可能なものとするを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

- 1 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取組を行います。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減(2030年に2013年比50%削減を目標とする)
  - ② 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減
  - ③ 水使用量の削減並びに雨水の有効活用
  - ④ 不良品の発生削減による材料歩留まりの向上
  - ⑤ グリーン調達の推進
  - ⑥ 有害化学物質の取扱い禁止並びに化学物質使用量の削減及び適正管理
- 2 エコアクション21の取り組みにより環境への取り組みの継続的な改善を図り、活動の質の維持・向上に努めます。
- 3 事業活動に適用される環境法規制を遵守します。
- 4 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境経営方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 5 生物多様性に関する従業員教育を実施するとともに、その保全と持続可能な利用のための取組を推進します。
- 6 ボランティア活動等を通じて、地域貢献に取り組みます。
- 7 5Sを徹底し、社内美化及びカイゼン活動に取り組むと同時に、事業活動内に潜むムダの「見える化」とその排除に努めます。
- 8 全従業員に対し、SDGs(持続可能な開発目標)の周知及び普及に努めると同時に、継続的にSDGsが掲げる目標実現のための活動に取り組みます。
- 9 環境方針等、必要な情報を開示します。

2018年3月1日改訂

来ハトメ工業株式会社

取締役会長(EA21代表者)

来 浩 

## 来ハトメ環境トピック2018

### ③ 当社環境経営方針はこうして作られた

#### ～課題とチャンス、そしてマテリアリティ分析～

#### ガイドライン2017年版

当社にとって昨年度が「エコアクション21 2017年版ガイドライン」移行初年度。今回のガイドライン改訂最大の目玉と言われる「代表者による経営における課題とチャンスの明確化(要求事項2)」には、御多分に漏れず当社も大苦戦！今回は、当社の「課題とチャンス」が「環境経営方針」に変貌していったプロセスを、この場を借りて恥ずかしながら御報告させていただきます。

#### ISO9001移行審査の失敗を糧に

当社は「品質はISO9001、環境はEA21」の認証を取得している会社。実は当社、一足お先に規格の変更があったISO(2015年版)の方で、「課題とチャンス」というやつには、痛い目に遭っていた訳で……。

この概念をよく理解せぬまま臨んだISO9001の移行審査(2017年)。「全く対応できていない」という辛辣な審査員の御言葉を頂戴し、晴れて移行見送りの憂き目に遭ってしまった、のです……。

その際に気の毒に思った審査員から「リスクと機会」の丁寧な手ほどきを頂けたおかげで、それに酷似したEA21の「課題とチャンス」には、割と抵抗感なしの状態でした。まさに、「怪我の功名」ですね。

何はともあれ代表者から「経営における課題とチャンス」を抽出してもらい、あとはISOで痛い目に遭った張本人、ISO管理責任者を兼任する環境管理責任者がこれを料理することとなりました。

#### 「マテリアリティ分析」の手法

##### 外部の課題

- ① 化学物質管理への要求(得意先)
- ② パリ協定約束草案(世界)
- ③ SDGsへの取組(世界)
- ④ 周辺環境の変化(工場→マンションへ)
- ⑤ コストダウン(得意先)
- ⑥ CSRの要求高度化(得意先、世界)

##### 内部の課題

- ① 設備老朽化によるエネルギーコスト増
- ② 危険物を取扱う
- ③ 外国人が多い
- ④ 騒音、振動特定施設を有する
- ⑤ 品質要求高度化による歩留まり悪化
- ⑥ 活動の質の維持・向上

##### チャンス

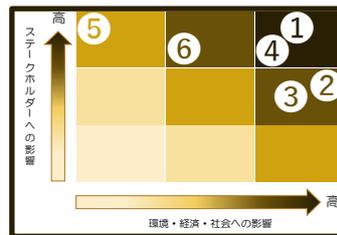
- ① 中小企業の環境経営のトップランナーに
- ② 永続できる企業に
- ③ 環境、経済、社会問題への解決力ある企業に
- ④ 信用力の高い企業に

まあ、チャンスだけ数が少ないのはさておき、これこれを環境経営方針に落とし込むにあたり、「マテリアリティ分析」の手法を、代表者に提案することに。

「マテリアリティ分析」とは、自社に関わる重要課題に優先順位をつけるための手法で、縦軸に「ステークホルダーへの影響」を、横軸に「環境・経済・社会への影響」をとった表の中に事象をプロットし、「それぞれの課題をどのくらい重視しているか」を見るのが普通。

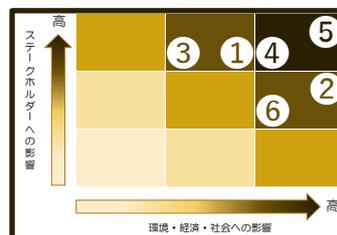
分析の結果、それぞれ下の表のようになり、この結果と従来の環境方針、品質方針を踏まえ、新環境経営方針、ここに完成と相成りました。

##### 外部の課題



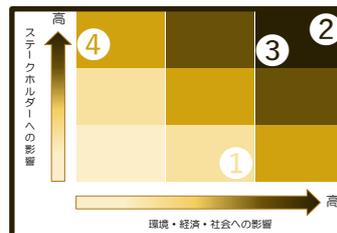
NO.	環境経営方針
①	1-⑥
②	1-①
③	8
④	3
⑤	-
⑥	9

##### 内部の課題



NO.	環境経営方針
①	1-①、7
②	3,4
③	4
④	3
⑤	1-④
⑥	2

##### チャンス



NO.	環境経営方針
①	-
②	前文
③	8
④	-

表右の数字は環境経営方針の番号、「-」は環境経営方針への反映を見送ったものを表します(原則として、右上3か所の色の濃いゾーンに入ったものを反映させることとしました)。

## 1) **Plan** 計画 法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs

取組内容	SDGs	実施責任者
事業活動内に該当する法令の改正状況を年1回調査し、改正あるものについては、法令ファイルの入替を行う。		石原 隆雅
工場稼働時の敷地境界における騒音の状況を確認し、記録する。		井出 学
エアコン室外機の点検を行う。		グエン ヴァン トゥアン
環境関連法規遵守のための教育又は教育効果のためのテストとそのフォローを行う。		石原 隆雅

## 2) **Do** 実施 法規制遵守状況のチェック結果

### 事業系一般廃棄物、産業廃棄物、リサイクル関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
廃棄物処理法	第3条	排出者責任の原則	委託業者の事業系一般廃棄物及び産業廃棄物許可証の写しを受領、確認済。	遵法
	第6条の3 第6項	事業者の一般廃棄物の処理		
	第12条の3 第1項	産業廃棄物マニフェストの交付		
	第12条の3 第5項	産業廃棄物マニフェストの保存		
	第12条の3	マニフェストに関する報告書の作成・報告義務	2018年度計8枚のマニフェスト交付事例あり。全て適正に記入され、保管もされている。また、これらの報告については、2019年4月2日、越谷環境管理事務所に送付。	
自動車リサイクル法	第73条	再資源化預託金等の預託義務	2018年2月に社用車1台を更新。適正に手続きが行われていることを確認。	遵法
家電リサイクル法	第6条	事業者及び消費者の責務	2018年度特定家電(テレビ)の処分事案3件あり。全てにおいてリサイクル券が交付され、その控えも適正に保管されている。	遵法
資源有効利用促進法	第5条	消費者の責務	2018年度においてはパソコン処分事案は発生していないが、2013年2月の処分時においては適正に処分を実施、書類も適正に保管している。	遵法

## 5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組



来ハトメ工業株式会社

### 典型七公害関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
騒音規制法	第5条	規制基準の遵守義務	毎月敷地境界4か所にて測定を実施。 問題がないことを確認。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	遵法
振動規制法	第5条	規制基準の遵守義務	未測定(但し、近隣からの苦情は無く、届出時に八潮市役所による検査済)。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
八潮市公害防止条例 	第17条の1	特定工場設置の許可	届出済(平成22年5月7日許可番号0031号)。	遵法
	第18条の1	特定工場変更の許可	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
	第20条	掲示板の設置	道路沿いの入口に設置されている(写真参照)。	
悪臭防止法	第7条	規制基準の遵守義務	臭気を感じることも無く、近隣からの苦情もないことから、当社により住民の生活環境が損なわれていないと判断できる。	遵法

### その他の環境関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
浄化槽法	第5条	設置等の届出	届出済。	遵法
	第10条	保守点検及び浄化槽の清掃(浄化槽管理者の義務)	3ヶ月毎の保守点検及び清掃を実施。	
	第11条	水質に関する検査(定期点検)	2018年11月27日に実施(判定：適正)	
八潮市火災予防規則	第10条	火を使用する設備等の設置の届出	炭化水素貯蔵量980ℓのため、少量危険物取扱所に該当。 八潮市消防本部に届出済。	遵法
消防法	第11条	危険物取扱者立会いの義務	2018年3月現在、危険物取扱者免状所持者4名。 今後、更に増員予定。	遵法
	第12条	保安に関する講習受講義務	2018年度該当者なし。	

## その他の環境関連法の遵守状況(続き)

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
フロン排出抑制法	第5条	事業者の責務(簡易点検の実施義務)	2018年6月22日、8月31日、11月27日、2019年2月27日に定期点検を実施。定期点検記録も保管されている。	遵法
	第5条	事業者の責務(定期点検の実施義務)		
	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	2018年度は業務用エアコン等の入替を実施していないため、同法の適用事例はないが、2011年度実施時に交付された「回収フロン破壊処理証明書」の保管は適正になされている。	

## その他の法令、企業間の取決めの遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
労働安全衛生法	第12条の2	安全衛生推進者等	2018年12月4日、係長 山崎洋幸が安全衛生推進者養成講習を受講。同日修了。	遵法
企業間の取決め (日本ケミコングリーン調達ガイドライン)		当ガイドラインの禁止物質不使用証明書を全サプライヤーから受領し、日本ケミコン株式会社様へ提出済。 2018年7月5日、日本ケミコン様よりグリーンサプライヤー認定証を受領(有効期限2010年3月9日)。		遵法

### 3) Check 確認 違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生しておりません。

## 4) Check 確認 法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
法規制改正状況の確認		10点	遵法性維持のため重要な取組。当然、次年度も継続。
騒音測定		9点	風の影響とはいえ1月に規制値逸脱発生。測定は、次年度も継続。
業務用エアコン等点検		10点	計画通り年4回実施。次年度も継続。
法規制遵守のための教育		10点	計画5回、実施9回(内顧客要求事項(化学物質関連法)の解説4回)。次年度は年4回の実施を計画。

## 5) Act 見直し 法規制遵守の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	不勉強で初めて見る法律もある。それにしても全て遵法というのは、すごいことだと思う。
指示	法律で規制されていれば、守るのは当然のこと。今後もしっかり取り組むこと。

## 補足「SDGs評価点」～SDGsによる「ふり返し」とその基準～

### SDGsによる「ふり返し」

昨年度より始めたSDGsへの取組。当社環境経営レポートでは、「取組状況の確認及び評価(Check)」の手法として「SDGs評価点」を昨年度レポートより採用しました。

これは、SDGsの観点から当社の環境経営に関する取組状況を点数化すること、当社の取組がSDGsをどれだけ満たすものとなっているのか、可視化することを狙い、設定したものです。

評点基準は、以下の通りです。

### 「SDGs評価点」評価基準

#### 環境関連法規(17～20頁)

10点満点。遵守事項各項目につき遵守されていないものがあつた場合、一項目ごとに△1点。

#### 緊急事態の想定とその対応策(21、22頁)

10点満点。2018年度年初に予定した訓練3項目(避難訓練、油漏出訓練、八潮市防火安全協会主催消火訓練)について、実施した場合は10点、未実施の場合は理由の如何を問わず0点とする。

#### 項目毎の取組(数値目標)(27～47頁)

目標達成率を点数とする(但し、100%以上10点(満点)、小数点以下切捨て)。

#### 項目毎の取組(その他の取組)(27～47頁)

実施の場合は10点、未実施の場合は0点、一部実施の場合は実施状況を勘案し、個別判断とする。但し、教育訓練については実施回数にて採点し、計画通り実施した場合は10点、未実施の場合は10÷実施予定回数(小数点以下切上げ)=1回ごとの減点点数のルールに従い、減点する。

#### 補足

1つの環境活動計画につき2つ以上のSDGsが並存しているものについては、どちらも同じ点数であるものとして評価する。

## 1) Plan 計画 想定される緊急事態

当社が現在想定している緊急事態は以下の3点です。

- (1) 潤滑油の漏洩
- (2) 地震の発生
- (3) 火災の発生

2018年度は、以上3つの緊急事態を想定した訓練を、下記環境経営計画に従い、実施しました。

## 2) Plan 計画 環境経営計画とSDGs

取組内容	SDGs	実施責任者
火災、地震避難訓練の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。	4 質の高い教育をみんなに 11 気候変動に脅かされるコミュニティ	佐々木 勝
製造現場の油漏出訓練の実施の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。	4 質の高い教育をみんなに 6 安全な水とトイレを世界中に 11 気候変動に脅かされるコミュニティ	山崎 洋幸
火災、地震時の心構えに関する教育を実施する。	4 質の高い教育をみんなに 11 気候変動に脅かされるコミュニティ	佐々木 勝
災害用物資の検討、調達、備蓄及び管理を行う。	3 持続可能なエネルギー 6 安全な水とトイレを世界中に 11 気候変動に脅かされるコミュニティ	佐々木 勝
八潮市防火協会主催の消火訓練の案内と当日の指揮を行う。	4 質の高い教育をみんなに 11 気候変動に脅かされるコミュニティ	来 昌伸 佐々木 勝

## 3) Do 実施 緊急事態の対応及び訓練状況

### 潤滑油漏洩時訓練(2018年11月15日実施)

最も発生の可能性が高いポンプの故障による潤滑油の漏洩。

2018年度の訓練においては、ポンプの故障発生時に止めるべきスイッチとポンプの修理方法についての実地訓練を実施しました。



### 従業員アンケートより

- 訓練に先立ちリニューアルしたスイッチ表示が見やすくて良かった。
- 大変具体的でわかりやすい訓練だが、声が聞き取れず残念。メガホンを使用するべき。



## 地震・火災想定避難訓練(2018年11月15日実施)

地震・火災の発生を想定しての訓練。  
例年同様、各部門従業員が中庭に集合する意識付けと避難時の基本行動の理解を重点目標としました。

### 従業員アンケートより

- 来年は、訓練の様子を録画して見ては？  
次回の参考になるし、いろいろなことが  
見えてくると思うので。



## 練習用消火器を使用した消火訓練(2018年11月15日実施)

消火器の使用時の一連の動作を、練習用消火器を使用して訓練。

### 従業員アンケートより

- 今回初めての訓練でとても勉強になりました。  
次回の訓練も、楽しみです。

佐藤 ジュリタさん(今回初参加)



Check  
確認

## 4) 緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
火災・地震想定避難訓練の実施		10点	計画通り実施。 次年度の更なる向上に期待。
油漏出時訓練の実施		10点	計画通り実施。 訓練時のメガホン導入を検討。
火災・地震時の心構えに関する教育の実施		10点	年2回計画、計画通り実施。 次年度も年2回の実施を計画。
災害用物資の検討、調達、備蓄及び管理		10点	2018年4月、災害時用備蓄品として飲料水、ウエットティッシュ、食料(カンパン)を購入。 次年度は備蓄品の管理(定期的な確認)を実施。
八潮市防火安全協会主催の消火訓練への参加		0点	都合により実施されず。 実施された場合は必ず参加する。

Act  
見直し

## 5) 緊急事態の想定・訓練に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	年々、参加者の真剣度が増し、表情も迫力が出てきた様に感じられる。
指示	消火器の使用訓練を少しずつ距離を増して、より実戦に近づけたらと思う。

## 1) 過去5年間の環境負荷の実績

項目(単位)		2013	2014	2015	2016	2017
CO <sub>2</sub> 排出量	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )※1	326,337	270,342	251,277	299,131	225,161
	電力(kWh)	374,437	523,004	562,463	623,392	700,395
	重油(ℓ)※2	55,700	12,500	—	—	—
	LPG(kg)	528	465	474.27	505.95	501
	ガソリン(ℓ)	3,305	3,250	3,285.01	2,573.89	2,338.00
	灯油(ℓ)	1,773	1,482	1,227	1,641	2,030
廃棄物	事業系一般廃棄物(kg)	1,700	1,795	1,860	1,285	1,084
	産廃(廃ウエス)(kg)	1,800	1,800	1,400	9,030	1,800
	紙くず(リサイクル量)(kg)	1,540	1,930	1,660	2,270	2,920
	廃アルミ(有価物)(kg)	215,130	218,161	241,234	279,020	313,520
水	上水(m <sup>3</sup> )	1,061	571	405	418	416
化学物質	炭化水素(ℓ)※3	38,400	24,000	12,600	16,000	21,600
	潤滑油(ℓ)※4	26,000	22,000	22,000	35,000	34,000
グリーン調達率(%)		75.18	80.42	80.52	71.79	81.49

平成20年度東京電力㈱の実排出係数(0.418kg-CO<sub>2</sub>)を基に算出しています(2016年度まで)。

2017年度については、日本テクノ㈱の調整後排出係数(0.447kg-CO<sub>2</sub>、2017年10月まで)とプレミアムグリーンパワーの調整後排出係数(0.000kg-CO<sub>2</sub>、2017年11月以降)を基に算出しています。

※1 二酸化炭素排出量

※2 当社における重油使用は2014年8月をもって終了しました。

※3 炭化水素の物品名は「ソルトーフP-1」(第2石油類 非水溶性)になります。

※4 潤滑油の物品名は「ラタックコンパウンド」(第4石油類)になります。

項目毎の基準年度は、24頁(2)環境目標の達成状況を御参照下さい。

## 2) 2018年度の実績と達成状況

### (1)比較年度使用(排出)量との比較(総量ベース)

項目	単位	比較年度	使用(排出)量		基準年比増減 (▲：マイナス)
			基準年度	2018年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	2013年度	326,337	9,856	▲316,481
電力	kWh	2015年度	562,463	667,351	104,888
LPG	kg	2010年度	717	483.29	▲233.71
ガソリン	ℓ	2010年度	3,447	1,435.16	▲2,011.84
灯油	ℓ	2010年度	1,480	1,815	335
事業系一般廃棄物	kg	2014年度	1,795	18,338	16,543
産業廃棄物(廃ウエス)	kg	2017年度	1,800	2,000	200
紙くず(リサイクル率)	%	2010年度	25.64	12.55	13.09%悪化
廃アルミ(有価物)	kg	2010年度	294,600	311,780	17,180
上水	m <sup>3</sup>	2015年度	405	437	32
炭化水素	ℓ	2015年度	12,600	21,400	8,800
潤滑油(ラタック)	ℓ	2010年度	28,018	28,000	▲18
グリーン調達率	%	2010年度	57.12	84.44	27.32%向上

表中赤太字の項目は、比較年度より増加(悪化)している項目を表します。

## (2)環境目標の達成状況

## 二酸化炭素排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素排出量	2013年度	総量(kg-CO <sub>2</sub> )	239,529	9856	達成
電力使用量	2015年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋)	20.42	16.47	達成
灯油使用量	2010年度	稼働日原単位(ℓ/稼働日数)	5.81	7.53	未達
LPG使用量	2010年度	稼働日原単位(kg/稼働日数)	2.77	2.01	達成
ガソリン使用量	現状把握	総量(ℓ)	-	2,338.04	-

## 廃棄物排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
事業系一般廃棄物	2014年度	総量(kg)	1,741	18,338	未達
産廃(廃ウエス)	2017年度	総量(kg)	1,782	2,000	未達
紙くずリサイクル率	2010年度	※2紙くず(kg)/ゴミ総量(kg)×100	32.64%	13.74%	未達
廃アルミ(有価物)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋)	8.93	7.70	達成

## 水使用量

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
水	2015年度	稼働時間原単位(m <sup>3</sup> /月稼働時間(h))	0.213	0.215	未達

## 化学物質使用量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
炭化水素	現状把握	洗浄袋数原単位(ℓ/袋)	-	0.60	-
潤滑油(ラタック)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋)	0.87	0.69	達成

## グリーン調達

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
グリーン調達	-	グリーン調達率(%)	82%以上	84.44%	達成

※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法(電力、ラタックの原単位算出に使用)

手順1. 当月洗浄袋(ロット)数÷当月製造数=製品1個あたり袋数を計算する -①

手順2. 調整(1)の値を計算する 調整(1) = ① ÷ (基準年洗浄袋(ロット)数 ÷ 基準年製造数) -②

手順3. 調整(2)の値を計算する 調整(2) = {1- (②-1)} × 当月使用量 -③

手順4. 調整後原単位を計算する 調整後原単位 = ③ ÷ 当月製造数

※2ごみ総量(kg)：事業系一般廃棄物(kg)、産廃(廃ウエス)(kg)、紙くず(kg)の合計量となります。  
表中赤太字の項目は、目標値未達の項目を表します。

## 二酸化炭素排出量（目標値：総量（kg-CO<sub>2</sub>）

Plan  
計画

### 中長期環境経営目標

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

年度	目標値	基準年度比
2018	233,656	28.4%削減
2019	227,782	30.2%削減
2020	221,908	32.0%削減
2021	216,034	33.8%削減
2022	210,160	35.6%削減
2030	163,169	50.0%削減
基準年度	2013年度	
※基準年度実績	326,337kg-CO <sub>2</sub>	

※CO<sub>2</sub>排出量の基準年度と長期目標設定について  
2015年12月に採択された「パリ協定」の目標達成のために、わが国では、「2030年度までに2013年度比26%、2050年までに80%の削減を目指す(地球温暖化対策計画)」という目標が設定されました。  
当社においても、この目標になぞらえる形で長期目標のゴールを2030年度とし、目標値としては、国の削減目標よりも遥かにチャレンジングな「50%削減」とし、取組を進めていくこととしました。

#### 中長期目標達成のために

使用エネルギーのほとんどが電力となった昨今、取組の成否を決するのは、電力由来のCO<sub>2</sub>排出量をいかに少なくするかにかかっています。

とはいえ、電力がなければ生産はできませんし、増産ともなれば大量の電力が当然必要に……。なかなか一筋縄にはいきません。

そこで目をつけたのがCO<sub>2</sub>排出量の少ない電力事業者への切替。削減の活動として「節電、省エネ」等、工夫(と根性)が必要な活動が良しとされる中、正攻法とは認めがたし!!との意見も聞こえてきそうな取組ではありませんが、この結果がいかほどのものであるか、またこうした活動は今後認知されるようになるのか、楽しみでもあります。

因みにこの電力事業者に2017年11月から切り替えました。すなわち、2018年度は、この成果を年間通じて評価できる記念すべき初年度。その結果に、こうご期待!!

Plan  
計画

### 環境経営計画と具体的取組

環境経営計画については、本削減活動の具体的項目となります「電力」、「灯油」、「LPG」、「ガソリン」の4項目ページに詳述致しますので、そちらを御確認下さい。

Do  
実施

### 具体的取組

#### 排出係数「0」を守れ!～電力事業者からの「誘惑」を撃退～

##### 衝撃の年末

「御社ぐらい従業員が自主的に動けると、責任者やっても随分楽なんじゃない?」

最近、よく言われるこの一言。まあ、「当たらずと雖(いえど)も遠からず」といったところではないでしょうか、と自分の名誉のために言いたいところではありますけど……。

そんな、他社の環境の責任者よりも楽をさせてもらっている私を震撼させる出来事が、2018年の暮れも押し迫った12月26日、起こってしまったのです。

##### 突然届いた「恐怖の案内文」

会社宛に突然届けられた、一枚の案内文。当社が

電力を購入する、CO<sub>2</sub>排出係数ゼロの電力の販売をウリとする電力事業者が差出人のこの封書、中を開けて読んでみた私は、その内容にある種の恐怖を覚えました。

その内容たるや、「この度会社を合併することとなった。合併と同時に、もう一つ新しい電力プランを立ち上げる。新プランは、CO<sub>2</sub>排出係数こそ高い(0.550kg-CO<sub>2</sub>)が、現在供給しているCO<sub>2</sub>ゼロのプランと比較して、遥かに割安。来月までに現行プラン、新プランのどちらを選ぶか回答してほしい」というもの。

割引額を計算してみると、毎月10万円弱。折しも、米中貿易戦争のあおりを受け、受注減に悩まされ始めた時期。この案内に真っ先に目の色を変えたのは、他でもない経営陣。(次頁へ続く)

「何とか、現行プラン維持の方向で考えてほしい」と懇願する私に対し、「月10万円のコストダウンなんて、したくてもなかなかできない。ここは分かってくれよ、石原君」と、なかなか聞いてもらえない……。良い案を頂こうと相談した環境専門家にも「経営者にとって魅力的なのは間違いない。まあ、ここは諦めなよ」と、まさに四面楚歌状態……。

「年明けに、自分の主張の根拠を示すので、それまで判断を延期して頂きたい」と苦し紛れのお願いをするのが、年内にできる私の精一杯。楽しい冬休みはひとまず置いといて、データと論点の整理に没頭する中で、私にとっての平成最後の冬休みは、静かに過ぎていくこととなりました。

### 4ページの報告書に思いを綴って

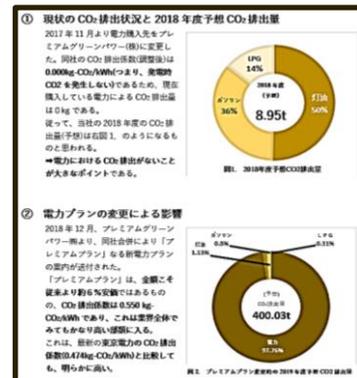
変更したらダメな理由をいかに伝えようか、CO<sub>2</sub>に対する現在のトレンドは、TCFDタスクフォースの話を入れれば、説得力が出るかも……。一人作戦会議に耽りつつ、自分の思いを綴った4ページの報告書が、いよいよ完成。私にとっての2019年は、電力プランの変更阻止をめぐる戦いから、幕を開けることとなりました。

### いざ、勝負!!

「これを読んだ上で、電力プランの切替、最終的にご判断頂きたい」と経営陣に差し出した報告書。ここでは、電力プランの切替によって390t(現状の約45倍)ものCO<sub>2</sub>排出量の増加を招く

こと、大企業がいずれCO<sub>2</sub>の開示を求める時代がやってくることを、実データを交えてつづさに説明し、決断を待つことに。

「ちょっと時間もらえる?(役員会議で)話し合って結論出すから」とは、「素晴らしい経営判断」を待つのみ!



提出した報告書より

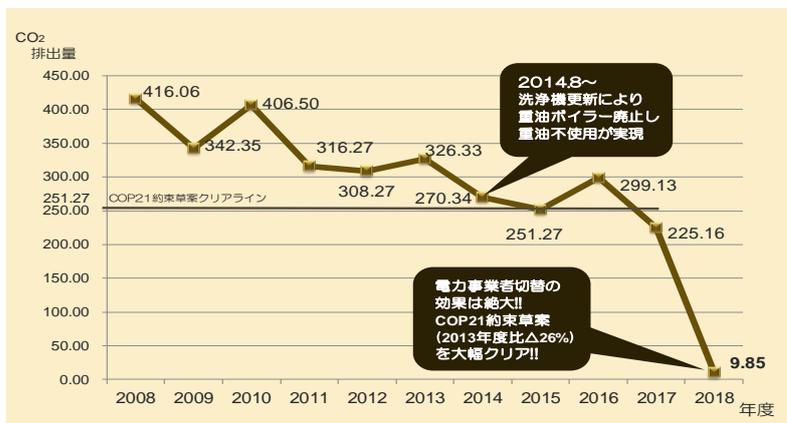
### 素晴らしい「経営判断」、下る!

「今まで通りのプランで行くことにするよ」社長から返事もらったのは、説明してから30分後。その決断に至った理由は、「今の45倍ものCO<sub>2</sub>を黙って出してしまうことは時代にそぐわないのももちろんだけど、それより何より、僅か月に10万円弱の経費節減を選ぶことで、社内の環境についてここまで力を尽くしてくれた君のやる気をそいでしまうことの方が気になった」から、だとか……。

こんな嬉しい一言も頂戴し、静かに幕を閉じた今回の「CO<sub>2</sub>排出係数ゼロ電力死守戦争」。普段楽をさせてもらっている責任者ではありますが、「次なる刺客」到来に備え、さらに力をつけようと心に誓った、2019年の冬、でした。

Check  
確認

## 二酸化炭素排出量の推移



CO<sub>2</sub>削減に関する環境経営目標、環境経営計画、実施状況及びその評価につきましては

- 電力 27~28ページ
  - 灯油 29ページ
  - LPG 30ページ
  - ガソリン 31~32ページ
- をご覧ください。

Act  
見直し

## 二酸化炭素排出量に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	電力会社の新プランに関する社長の判断は、環境管理責任者に対する評価の表れだと思う。
指示	経営環境のあまり良くない中での決断であることを受け止めて、今後も頑張ってもらいたい。

## 電力使用量(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋))

Plan  
計画

### 中期環境経営目標

(単位:kWh/袋)

年度	目標値	基準年度比
2018	20.42	3%削減
2019	20.21	4%削減
2020	20.00	5%削減
2021	19.79	6%削減
2022	19.57	7%削減
基準年度	2015年度	
基準年度実績	21.05kWh/袋	

### 中期環境目標達成のために

先に述べた通り、現在当社で購入している電力のCO<sub>2</sub>排出係数はゼロ。そこだけに着目してしまうと「使い放題でも問題無し」という発想が出かねません。

「環境負荷はゼロでも大きなコストは発生している」という意識を持ち、コスト削減活動の一環としてとらえ、今後共節電を追求していきます。

Plan  
計画

### 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の電力使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費と生産 13 気候変動に具体的な対策を	田辺 栄一
電力使用量削減に繋がる教育(年6回)を実施する。	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動に具体的な対策を	田辺 栄一
電力使用量、CO <sub>2</sub> 排出量削減に貢献可能な機器等の調査及び導入に向けての提案を行う。	7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動に具体的な対策を	田辺 栄一
デマンド目標を夏期290kW、冬期260kWとし、警告表示時の行動を策定及び指揮する。	13 気候変動に具体的な対策を	田辺 栄一
デマンド設定値逸脱防止のため、ピークシフト生産、前倒し生産等の施策を検討、実行、指揮する。	13 気候変動に具体的な対策を	来 満
1F製造ラインのエア配管からのエア漏れチェックを行い、漏れ箇所があれば修繕を行う。	13 気候変動に具体的な対策を	田辺 栄一
製造現場(田辺)、洗浄場(斎藤)、2Fフロア(安田)の温・湿度を毎日記録する。	13 気候変動に具体的な対策を	田辺 栄一 斎藤 進 安田 ジョセフィーナ

原単位算出式：\*基準年度の洗浄袋数を基に調整した電力使用量(kWh)=洗浄袋数(袋)

※原単位計算方法については24頁をご覧ください。

Do  
実施

### 2018年度電力使用量削減に関する主な取組

#### その1.夏期の節電はデマンド重視

夏期のデマンド目標値を290kW(昨年度比△1kW)に設定。デマンドコントローラーと「根性」を駆使した取組。その結果やいかに？



デマンドコントローラー

#### その2.電力に関する教育

担当者(田辺)を講師とした電力関連の教育を年6回実施。この回では担当者自身の新電力切替の経験を踏まえ、新電力についての講義を実施。

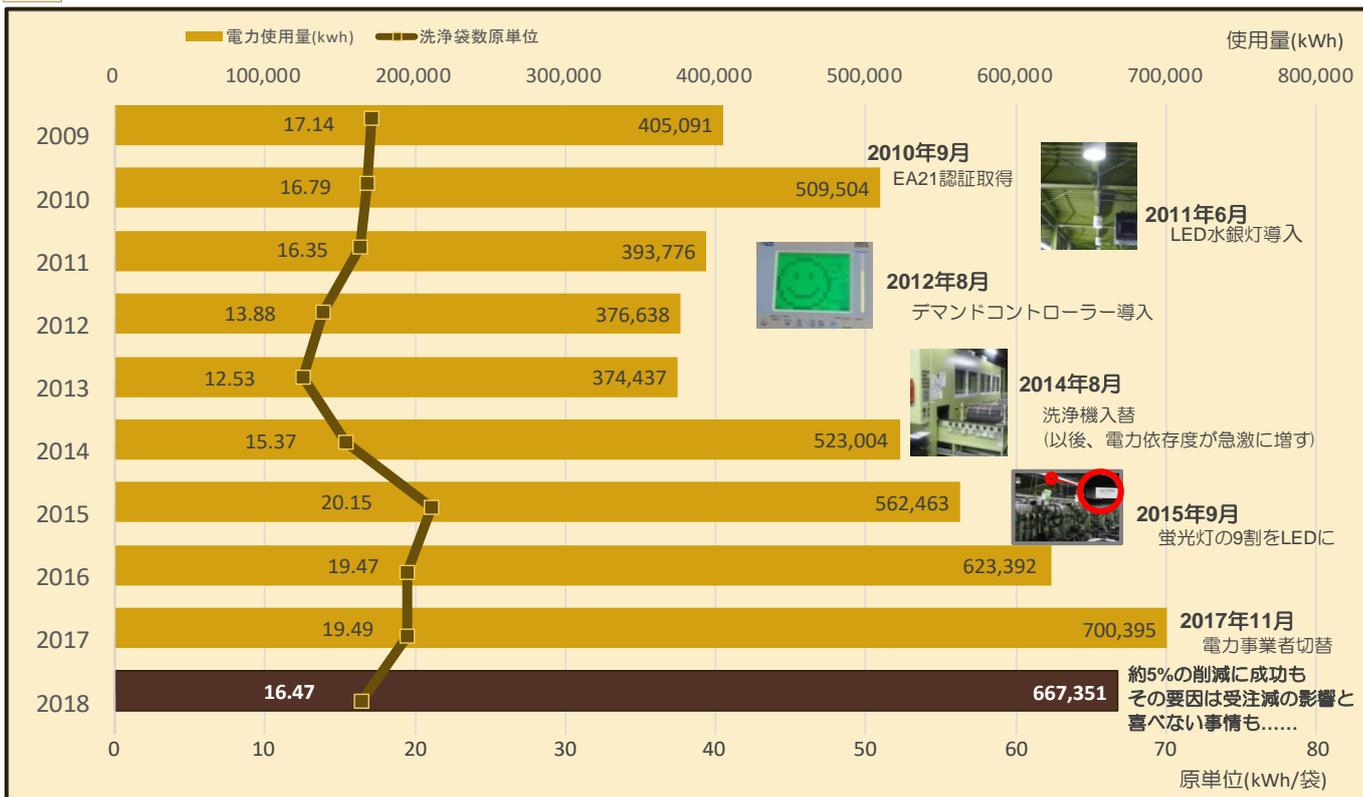
ENEOSでんきのご紹介  
「ENEOSでんき」実は電気のベテランです。  
2016年4月、電力小売の自由化を、誰もが、電力会社を自由に選べる時代がやってきました。  
「ENEOSでんき」も、そのひとつです。  
ENEOSでは、これまでおなじみのENEOSでんきと併せて、ENEOSでんきという新たな電力会社として、環境負荷の少ない再生エネルギーの活用や、太陽光・風力などの再生可能エネルギーの活用にも取り組んでいます。  
お仕事の現場で電力をうまく使って発電しているか、家庭で電力をどう使っているか。また、より多くのお客さまに電力をお届けするため、発電所の建設・増強も積極的に進めています。

「ENEOSでんき」4つのポイント  
ポイント①安心と信頼の電源  
ポイント②お仕事の現場で、さまざまなお役立ちに電力を提供してきた実績で培ったノウハウを活かす  
ポイント③お仕事の現場で、さまざまなお役立ちに電力を提供してきた実績で培ったノウハウを活かす

講義資料(2018年7月実施)

Check  
確認

## 電力使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
電力使用量の記録 (原単位目標達成率)		10点	原単位目標達成率123.95%(達成)。次年度は基準年△4%を目標とする。
電力に関する教育の実施		10点	計画通り年6回実施。次年度は年5回実施を計画。
エコ替え提案		0点	実施されず。次年度も担当者中心に機器調査等実施を計画。
デマンド目標値達成		10点	2018年度289kW(達成)。次年度も目標は290kWとする。
デマンド目標遵守のための取組実施		10点	5月末に計画策定し、担当者中心に全従業員協力の下行動。次年度も同様の取組を実施。
製造ラインのエア配管漏れチェックの実施		10点	計画通り実施。次年度も年2回実施。
温・湿度の記録		10点	全エリア、計画通り実施。次年度も継続。

Act  
見直し

## 電力使用量の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	2014年、洗浄機をボイラー加熱からオイル加熱に替えてから電力使用量が増加したが、少しずつでも減少の方向に行っているので安心した。
指示	夏の暑さの中で、これ以上のエアコンの抑制は、無理があると思う。何か、方法を考えたほうが良い。

## 灯油使用量(目標値：稼働日原単位(ℓ/日))

Plan  
計画

### 中期環境経営目標

(単位: ℓ/日)

年度	目標値	基準年度比
2018	5.81	6%削減
2019	5.75	7%削減
2020	5.69	8%削減
2021	5.62	9%削減
2022	5.56	10%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	6.18 ℓ/日	

中期環境目標達成のために

冬期に暖房器の燃料としてのみ使用。そのため、その年の冬の稼働状況や気温に使用量が大きく左右されます。

使用している暖房器は非常に古く、もし故障ともなれば、修理不能の可能性も……。

今やCO<sub>2</sub>排出係数ゼロの電力の時代。暖房器も大変古いことから、本気で暖房方法の変更を考える必要がありそうです。

Plan  
計画

### 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の灯油使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費の責任 13 気候変動に具体的な対策を	三輪 千鶴
暖房器の出力を「中」以下に絞ると共に、稼働中は重ね着(ウォームビズ)を実施する。	13 気候変動に具体的な対策を	全従業員
暖房器のフィルター、熱交換器清掃を実施する。	7 持続可能なエネルギー	三輪 千鶴

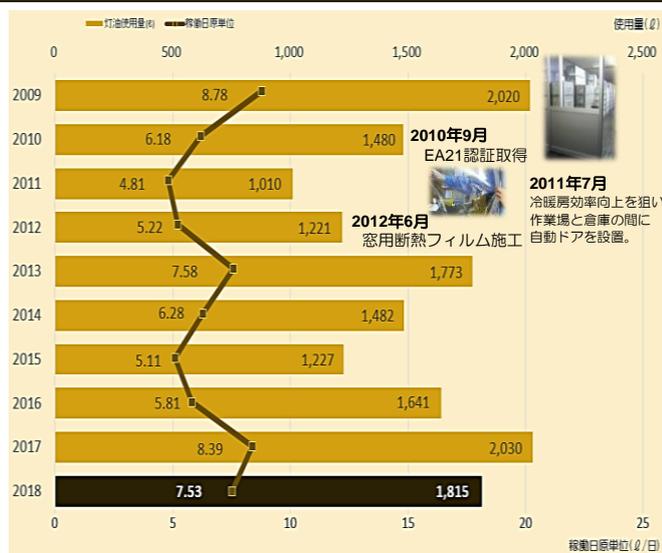
灯油使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷当月の稼働日数(日)

Do  
実施

Check  
確認

### 使用量・原単位の推移、分析、取組の評価と次年度の取組内容

#### 灯油使用量・原単位の推移



#### 2018年度灯油使用量削減の活動に関する分析

使用量、原単位共昨年度比約10%強の減少。従業員の努力プラス暖冬傾向であったことと、丁度灯油使用時期と米中貿易戦争の影響による稼働時間減が重なった結果、使用量減少となったものと考えられます。

#### 取組の評価と次年度の取組内容

数値目標の達成度 関連SDGs

7点(原単位目標達成率77.09%)

出力遵守、重ね着の実施 関連SDGs

10点(全員が実施)

フィルター、熱交換器清 関連SDGs

0点(実施せず)

次年度の取組内容

原単位目標未達のため、目標は据え置き。

フィルター等清掃次年度は必ず実施します。



Act  
見直し

### 灯油使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	約40年使用している灯油暖房器、大事に扱えば、まだまだ使用可能と思われる。
指示	昔の機械は構造が簡単で、長持ちする。 あと10年は使えるように、メンテナンスに努めること。

## LPG使用量(目標値：稼働日原単位(kg/日))

### Plan 計画 中期環境経営目標

年度	目標値	基準年度比
2018	2.77	8%削減
2019	2.74	9%削減
2020	2.71	10%削減
2021	2.68	11%削減
2022	2.65	12%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	3.01kg/日	

中期環境経営目標達成のために  
 使用量こそ年間500kg前後と少ないものの、削減活動が順調に進んでいます。  
 設備の更新が必要なので簡単というわけにはいきませんが、電力への置換えも可能。削減活動と並行して、将来的な廃止への検討をしてみる必要がありそうです。

### Plan 計画 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月のLPG使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 つくば地球 持続可能な消費生活 13 気候変動に 適応可能な社会	山崎 洋幸
フォークリフト運転技能講習終了者を増員する。	4 質の高い教育を みんなに 13 気候変動に 適応可能な社会	来 満 来 昌伸
フォークリフトガス単独にての「見える化」を実施する。	13 気候変動に 適応可能な社会	山崎 洋幸 宮本哲次
手洗い時瞬間湯沸器使用禁止期間を設定し、事前啓発と効果の検証をそれぞれ行う。	4 質の高い教育を みんなに 13 気候変動に 適応可能な社会	山崎 洋幸
冬期の瞬間湯沸器のガス、水量を設定し、事前遵守啓発と事後の効果検証をそれぞれ行う。	4 質の高い教育を みんなに 13 気候変動に 適応可能な社会	山崎 洋幸

LPG使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷当月の稼働日数(日)

### Do 実施 Check 確認 使用量・原単位の推移、分析、取組の評価と次年度の取組内容

#### LPG使用量・原単位の推移と分析

2010年9月 EA21認証取得

湯沸器の水量、ガス量の固定 (冬期の定番施策)

冬期湯沸器使用ルールが有効? 更に約3%削減!

免許取得者増員 関連SDGs

0点(実施されず)

フォークガス「見える化」 関連SDGs

10点(毎月実施)

夏期湯沸器使用禁止 10点(確実に実施)

冬期のガス、水量設定 10点(確実に実施)

#### 2018年度LPG使用量削減の取組の評価

数値目標の達成度 関連SDGs

10点(原単位目標達成率138.18%)

#### 次年度の取組内容

次年度は、活動開始以来初の担当者交替を行います。  
 良好に推移している項目をあえて新人に担当させ、経験を積んでもらえればと考えています。

### Act 見直し LPG使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	4か所に湯沸器があるが、全従業員、使用禁止期間の取決めを、よく守っている。
指示	真夏の冷水は何でもないが、4月初めは相当に冷たい。その時期だけは、どうか頑張ってもらいたい。

## ガソリン使用量(目標値：総量(L))

Plan  
計画

### 中期環境経営目標

(単位:L)

中期環境目標達成のために

年度	目標値	基準年度比
2018	2018年1月に全車ハイブリッド化が実現し、従来との比較が困難になることから、2018年度は現状把握としました。	2018年度
2019		
2020		
2021		
2022		
基準年度		2018年度
基準年度実績		-

昨年度末(2018年1月)に社用車の更新が行われ、ハイブリッド車が選定されました。これにより、更新前のガソリン車よりも大幅にガソリン消費量が減少することが予想されることから、2018年度は数値目標については設定せず、現状把握に努めることとしました。

Plan  
計画

### 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月のガソリン使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費のあり方 13 気候変動に臨む	来 尊重
効果的なエコドライブ方法、低公害車の利点等に関する啓発教育を行う。	3 健全な気候 4 質の高い教育をみんなに 7 持続可能なエネルギー 13 気候変動に臨む	来 尊重
実車によるエコドライブ乗車体験実習を行う。	3 健全な気候 4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動に臨む	来 尊重

Do  
実施

### 2018年度ガソリン使用量削減に関する主な取組

#### その1.ついに社用車全車ハイブリッド化！

2018年1月の社用車更新に伴い、選定されたのは念願のハイブリッド車！これにより、先(2016年5月)にハイブリッド化が完了した1台と合わせ、社用車2台のハイブリッド化が、全てめでたく完了する運びとなりました。



2010年9月の環境活動開始後に更新された全ての社用車にハイブリッド車を選ばれたのは、ガ

ソリン担当者が粘り強く続けてきた啓発教育の一つの成果、と言えるのではないのでしょうか。



社用車だけでなく、従業員が自家用車を選定する際にも迷わずエコカーの購入に向かわせるような啓発が引続き行われることを、期待してやみません。

#### その2.エコカー(エコドライブ)啓発

《電気自動車が大気汚染問題を解決する理由》

現在世界の新興国の都市部は問題になっている。深刻な大気汚染は特に中国の北京やインドのデリーや大都市は数メートル先が見えないほどの日が続く。このように大気汚染の原因の1つにあげられるのが車の排気ガスです。自動車から排出される有害な微粒子は人の健康からPM2.5やPM10のレベルを上げ、この微細な微粒子が大気汚染...

《1km走行あたりのPM2.5発存量》 《1km走行あたりのPM10発存量》

電気自動車：65.7mg

電気自動車：22.4mg

ガソリン車：66.0mg

ガソリン車：23.2mg

ハイブリッド車：65.3mg

ハイブリッド車：22.6mg

あれ？電気自動車もガソリン車も大気汚染レベル変わらぬか？

【排気ガスだけでなく大気汚染源】

すっかりおなじみになった味のある手書き資料は今年も健在。この回(2018年9月実施)では、「電気自動車は、構造上重量がガソリン車よりも重くなるため、PM2.5発生という面ではガソリン車より問題あり」という驚きの事実が紹介され、受講者一同の驚きと興味を誘いました。

実施回数が計画未満だったり、多少問題はありますが、楽しい啓発は今年も健在！でした。

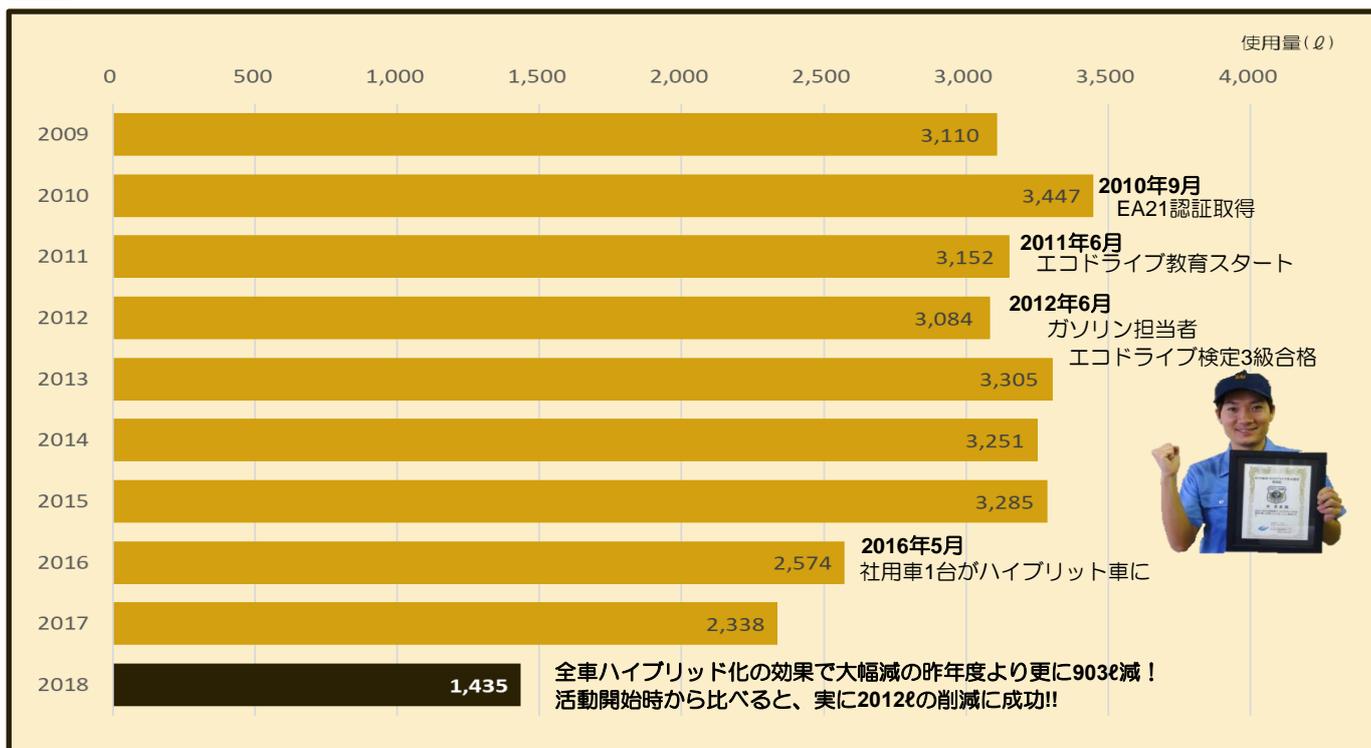
# 8.PDCAで見る2018年度環境活動



来ハトメ工業株式会社

Check  
確認

## ガソリン使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
ガソリン使用量の記録 (目標達成率)		一点	「現状把握の年」として活動したため、評価は付さない。 次年度以降は2018年度実績を基準としてまずはそこから△1%削減を目指し、取組を継続する。
エコドライブ関連の教育の実施		5点	年4回の計画に対し実施は2回。 年間計画策定時、実施月のみを計画し、実施のタイミングは担当者に任せて運用した、環境管理責任者の全体の施策管理と実施の見通しの甘さがあったことが、その原因。 その反省を踏まえ、次年度からはガソリンに限らず全ての環境教育に対して実施日も事前に決定し、運用する形をとることにした。 エコドライブ関連教育については、年4回の実施を計画。
エコドライブ乗車実習		0点	実施されず。 「次年度は必ず実施します！」という担当者の意向をくみ、次年度も計画。

Act  
発進し

## ガソリン使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	ハイブリッド車の燃費は想像以上に良く、前の車の2.5倍以上である。
指示	発進時にアクセルを踏み込まず、エコモードの範囲内で通常走行することで、3倍の燃費向上を目指そう。

## 廃棄物(事業系一般、産廃(廃ウエス)、紙くず)排出量

Plan  
計画

### 中期環境経営目標

#### 事業系一般廃棄物(単位：kg)

年度	目標値	基準年度比
2018	1,741	3%削減
2019	1,723	4%削減
2020	1,705	5%削減
2021	1,687	6%削減
2022	1,669	7%削減
基準年度	2014年度	
基準年度実績	1,795kg	

2018年度排出量1,084kg。活動開始以来最少で、いよいよ年間3ヶ台に収めることも視野に入ってきました。目標達成には全員の高い意識と協力が不可欠。意識の維持、向上に向けた取組を強化し、目標達成を目指します。

#### 産廃(廃ウエス)(単位：kg)

年度	目標値	基準年度比
2018	1,782	1%削減
2019	1,764	2%削減
2020	1,746	3%削減
2021	1,728	4%削減
2022	1,710	5%削減
基準年度	2017年度	
基準年度実績	1,800kg	

一昨年度より、5Sの一環として毎日5分間の工場床の清掃タイムを設けるなど、ウエスの使用状況が大きく変化したため、基準年度を2017年度に改めました。

担当者によるウエス適正使用がなされているかの監視を活動の中心に、地道な活動をつけていきます。

#### (有価物)紙くず(単位：%)

年度	目標値	基準年度比
2017	32.64	7%向上
2018	33.64	8%向上
2019	34.64	9%向上
2020	35.64	10%向上
2021	36.64	11%向上
基準年度	2010年度	
基準年度実績	25.64%	

長期にわたる従業員教育が奏功し、今では全従業員が「紙くずは売れる」という認識を持ち、進んでリサイクルに協力してくれています。

その良い流れを「当社の伝統」の域まで高められるよう、担当者を実施中心に、啓発と行動を継続します。

Plan  
計画

### 2018年度環境経営計画とSDGs

	項目	SDGs	実施責任者
事業系一般廃棄物	毎月の事業系一般廃棄物排出量を記録し、各月ごとの見直しを行う。		加茂 隆弘
	工程内検査にて使用するウエスについて、床清掃用モップとしてリユースする。		1F従業員
	事業系一般廃棄物、紙、ビニールの分別が確実に行われているか定期的に確認し、問題があれば是正及び指導する。		加茂 隆弘
	廃棄物削減に繋がる教育(年3回)を実施する。		加茂 隆弘
産廃(廃ウエス)	毎月の産業廃棄物(廃ウエス)排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。		セノ リト アンジェロ
	「見える化」ボードの内容を定期更新し、排出量削減啓発を行う。		セノ リト アンジェロ
	毎日廃ウエス分別が徹底されているかを確認し、不備がある場合は分別を行う。		セノ リト アンジェロ

# 8.PDCAで見る2018年度環境活動



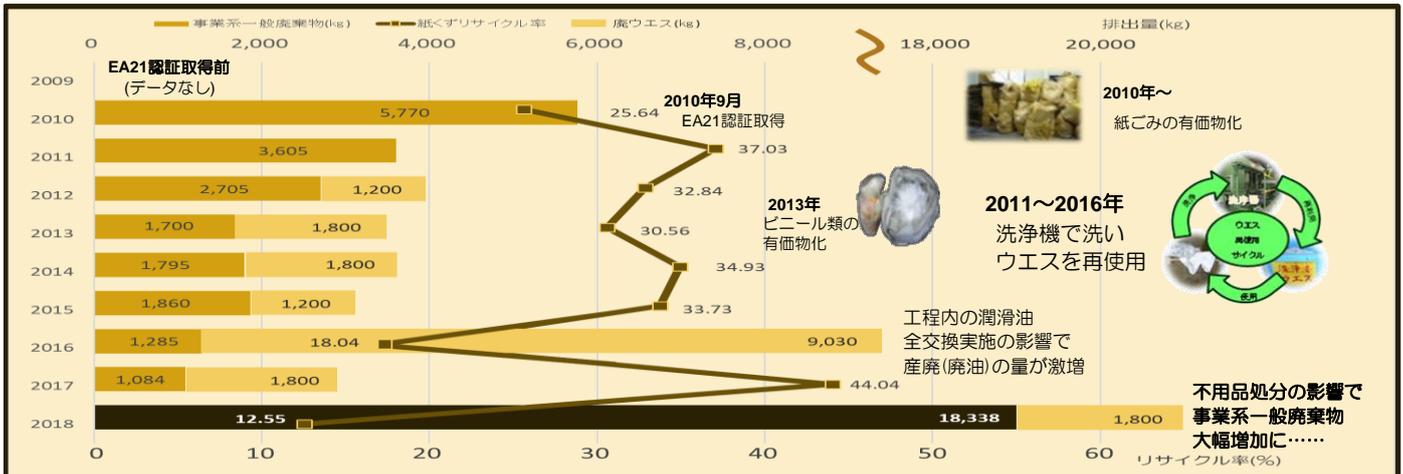
来ハトメ工業株式会社

紙くず(有価物)	項目	SDGs	実施責任者
	毎月の紙くずリサイクル量を記録し、各月ごとの見直しを行う。	12 持続可能な消費と生産	有山 浩一郎
	カゴ台車による運搬の指示と同方法定着のための指導を行う。	4 質の高い教育をみんなに、12 持続可能な消費と生産	有山 浩一郎
	紙と事業系一般廃棄物の分別が正しくできているか、毎日確認する。	12 持続可能な消費と生産	パート従業員

リサイクル率算出式：紙くず(kg)÷(事業系一般廃棄物(kg)+産廃(kg)+紙くず(kg))×100

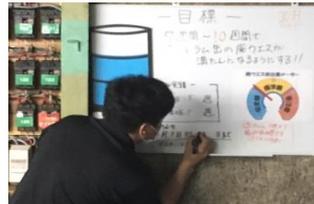
Do 実施  
Check 確認

## 廃棄物排出量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



### 2018年度の主な取組と結果分析

廃棄物関連の教育2回(事業系一般廃棄物)、紙くずをカゴ台車で毎月運搬(紙くず)、「見える化」ボードを用いた削減啓発(産廃)がそれぞれの主な活動。



「見える化」ボードと担当者

どの活動とも年間を通じてほぼ順調に推移しましたが、4月に実施した不用品の一括整理の際に出た廃棄物(数量換算17,000kg)が最後まで響き、活動開始以来最悪の結果となってしまいました。

### 2018年の評価と次年度の取組内容

●事業系一般廃棄物関連の取組  
 数値目標の達成度 0点(達成率9.49%、不用品整理の影響大)  
 分別徹底、モップリユース 10点(全員が確実に実施、次年度も実施)

廃棄物関連の教育 6点(計画3回、実施2回。次年度は年2回実施予定)  
 ●産廃(産廃)関連の取組  
 数値目標の達成度 8点(目標達成率89.1%、未達につき目標据置)  
 削減啓発 10点(「見える化」ボードによる、次年度も継続)  
 分別の徹底 10点(次年度も継続して実施)  
 ●紙くず(有価物)関連の取組  
 数値目標の達成度 3点(達成率38.44%、突発要因)  
 カゴ台車による運搬 10点(全員毎月実施。次年度も継続)  
 事業系と有価物分別 10点(かなり全体の意識高い。もちろん継続)  
 ※ 事業系とリサイクル率の数値悪化は、不用品整理実施という突発要因によるものです。従って、次年度の数値目標は、通常の達成時同様、今年度目標△1%とします。

Act 見直し

### 廃棄物排出量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	以前のトラックを借りて有価物を運ぶ方法と比較し、カゴ台車による運搬は、それだけでエコな活動だと思う。
指示	僅か200m前後の距離だが、公道を使って運搬するのだから、くれぐれも事故には注意して行うこと。

## 【有価物】 廃アルミ排出量(目標値:洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋))

Plan  
計画

### 中期環境経営目標

(単位:kg/袋)

年度	目標値	基準年度比
2018	8.93	8%削減
2019	8.84	9%削減
2020	8.74	10%削減
2021	8.64	11%削減
2022	8.54	12%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	9.71kg/袋	

### 中期環境経営目標達成のために

廃アルミには、プレス機の性質上必ず発生する「抜きカス」と呼ばれる製品にならない部分の他、製造工程で発生した不良品を処分したものも含まれ、特に削減の対象は後者の製造中に発生するものになります。

作業方法や工程自体を見直すという難しい作業も伴いますが、様々な知恵を出し合い、目標達成を目指します。

Plan  
計画

### 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の廃アルミ排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費と生産	加藤 直
材料台のグリースを3ヶ月毎に交換する。	9 産業と地域経済の革新を通じて成長	加藤 直
製品缶の転倒防止策を検討する。	9 産業と地域経済の革新を通じて成長	井出 学
工程内検査回数頻度を増やすため、製品缶を小型化する。	9 産業と地域経済の革新を通じて成長	井出 学
缶開けルール徹底のための啓発活動を行い、その効果を検証し、必要があれば指導を行う。	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と地域経済の革新を通じて成長	加藤 直
正しい材料つなぎ方法について朝礼時に講習を行う。	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と地域経済の革新を通じて成長	井出 学
ライン別、担当者別の不良率の「見える化」を実施する。	9 産業と地域経済の革新を通じて成長	井出 学

廃アルミ排出量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg)÷洗浄袋数(袋)

※洗浄袋数の調整方法については24頁をご覧ください。

Do  
実施

### 2018年度廃アルミ排出量削減に関する主な取組

#### その1.材料つなぎ教育

生産工程の中で、最もミスが出やすく、また不良品発生につながりやすいのが、材料の交換(つなぎ)作業。その正しい作業手順を全員で共有することで、不



みんな真剣そのもの

良品発生を未然に防ぐことを目的として2012年4月にスタートしたのが、この材料つなぎ教育。

2018年度は年11回(計画は12回)実施。今年度も不良品発生防止に一役買う(?)取組となりました。

#### その2.製品缶の小型化

連続生産中に突発的に発生する不良被害を少なくすることも大きな課題の一つ。その課題を克服するべく考えられたのが、製品を受ける缶を小さくし、検査



大型缶(左)と小型缶(右)

の頻度を多くする、というもの。

発想は単純。でもその効果は絶大!だとか…

…。缶の交換にはコストも伴うので、一気に全部というわけにはいきませんが、時間をかけて全体に拡大していくことを計画しています。

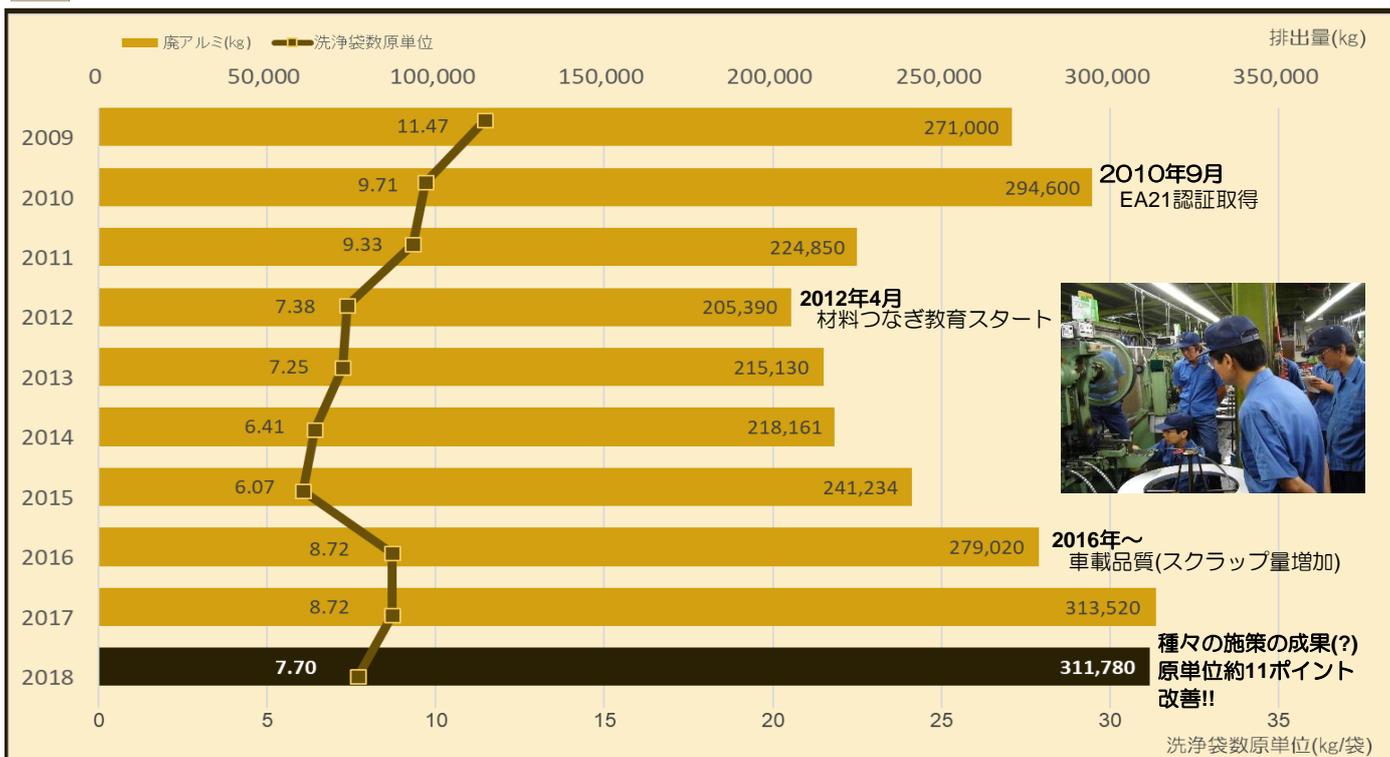
# 8.PDCAで見る2018年度環境活動



来ハトメ工業株式会社

Check  
確認

## 廃アルミ排出量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
廃アルミ排出量の記録 (目標達成率)	12 持続可能な消費	10点	目標達成率116.03% 次年度は目標値を更に△1%減。
材料台グリース交換 (3か月毎)	9 廃棄と汚染の削減	10点	毎月実施。記録表がないため、次年度は用意する必要あり。
製品缶転倒防止策実施	9 廃棄と汚染の削減	5点	一部実施。 次年度も継続して実施。
製品缶の小型化	9 廃棄と汚染の削減	5点	一部実施。 次年度も継続して実施。
缶開けルールの啓発	4 質の高い教育をみんなに 9 廃棄と汚染の削減	10点	計画3回、計画通り実施(朝礼にて)。 次年度も継続して実施。
材料つなぎ教育の実施	4 質の高い教育をみんなに 9 廃棄と汚染の削減	9点	計画12回、実施11回。削減活動の軸として次年度も毎月実施。
ライン、担当者別不良率「見える化」実施	9 廃棄と汚染の削減	10点	毎月実施。

Act  
見直し

## 廃アルミ排出量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	製品の受缶を小さくして頻繁に袋に空けるのはいいアイデア。 缶の径をそのままに、長さを短くするのも一つの方法だと思う。
指示	材料のつなぎ作業は、プレス作業の基本中の基本。 教育については、泥臭く確実に続けることが大事。

## 水使用量(目標値：月稼働時間原単位(m<sup>3</sup>/h))

Plan  
計画

### 中期環境経営目標

(単位:m<sup>3</sup>/h)

年度	目標値	基準年度比
2018	0.211	2%削減
2019	0.209	3%削減
2020	0.206	4%削減
2021	0.204	5%削減
2022	0.202	6%削減
基準年度	2015年度	
基準年度実績	0.215m <sup>3</sup> /月稼働時間	

中期環境目標達成のために

チラー冷却水用途以外生産工程での水使用がない当社では、いかに従業員一人ひとりの節水意識を向上させるかに削減活動の成否がかかっていると言っても過言ではないでしょう。

節水意識を高める啓発・教育を継続し、意識の維持、向上に努めていきます。

Plan  
計画

### 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の水使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	6 安全な水とトイレを世界中に	宮本 哲次
節水のための啓発教育(年2回)を実施する。	4 質の高い教育をみんなに 6 安全な水とトイレを世界中に	宮本 哲次
雨水タンクの水を補助手洗いと浄化槽汲み取り後の水補充に利用する。	6 安全な水とトイレを世界中に	宮本 哲次
漏水、無駄遣い等の注意喚起のため、毎週水曜日に水道メーターを確認し、速報値を掲示する。	6 安全な水とトイレを世界中に	宮本 哲次
節水ポスターを実状に即したものに更新、掲示する。	6 安全な水とトイレを世界中に	宮本 哲次

水使用量原単位算出式：使用量(m<sup>3</sup>)÷月稼働時間(h)

Do  
実施

### 2018年度水使用量削減に関する主な取組

#### その1.「ポスター」は、啓発の基本！

数年前、当社の水道近くにお目見えした、おなじみの「清純路線ポスター」。あれっ、なんか、いつの間に雰囲気が変わっているような.....。



新ポスター

聞くと、水使用削減の担当者の宮本さんが、日本水道協会のホームページから新バージョンのポスターを見つけて、貼り替えてくれたのだとか。

節水ポスターは、水啓発の基本。定期的にリニューアルし、我々の注意を引きつける工夫、あっばれです!!



以前のポスター

#### その2.水に関する教育

節水に限らず、水に関心を持ってもらうことを目的に、水に関する様々なテーマが取り扱われるのが、当社の水に関する教育。



この回は「海水淡水化」が取り上げられました。

「海水淡水化」の紹介  
(2019年2月実施)

#### その3. 雨水有効活用

雨水貯留用200ℓタンク。ためた雨水は、簡易の手洗いや浄化槽清掃時に有効活用しています。



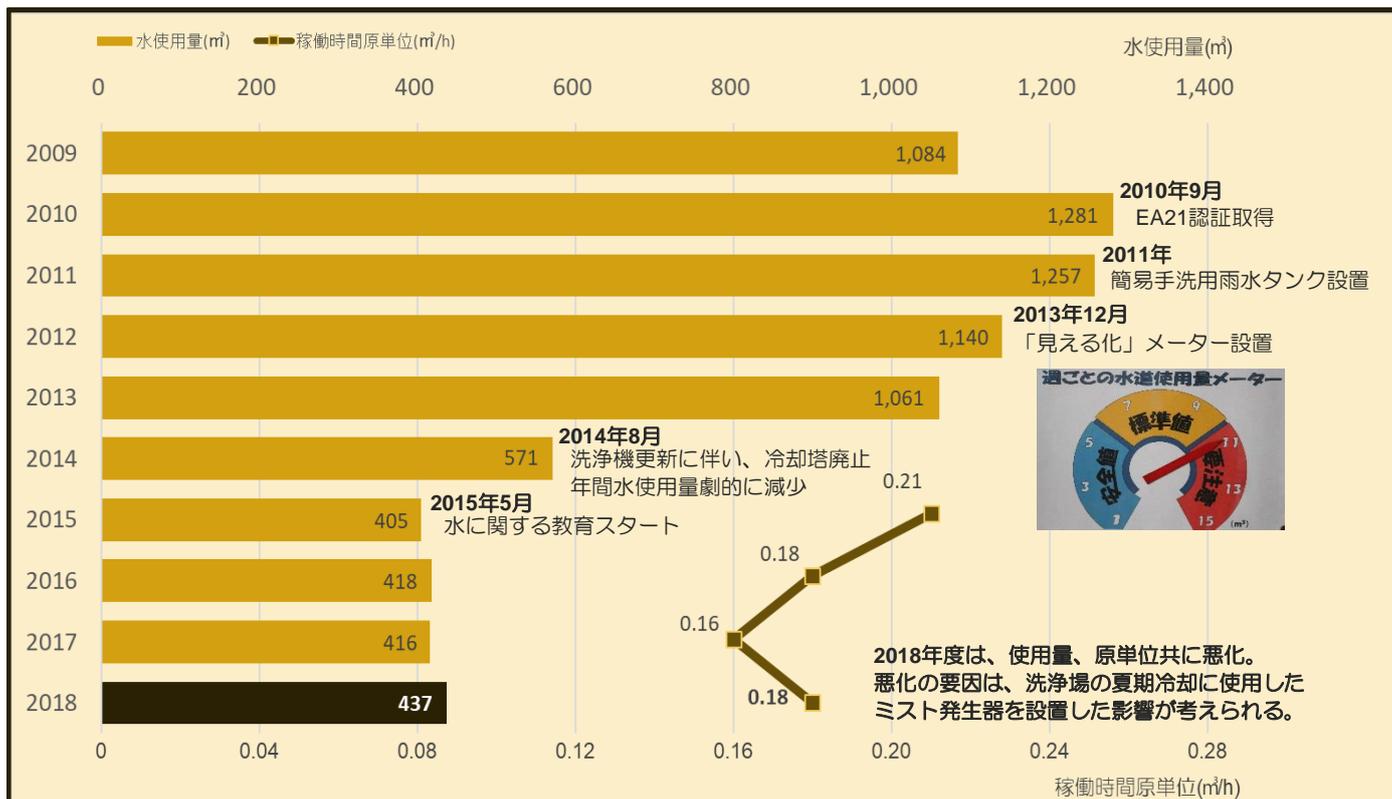
# 8.PDCAで見る2018年度環境活動



来ハトメ工業株式会社

Check  
確認

## 水使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
水使用量の記録 (目標達成率)	6 安全な水とトイレを世界中に	10点	原単位目標達成率117.06% 次年度は目標値を更に△1%減。
水に関する教育 (計画:年2回)	4 質の高い教育を世界中に 6 安全な水とトイレを世界中に	10点	計画通り実施。 次年度も年2回実施予定。
雨水タンクの水有効活動	6 安全な水とトイレを世界中に	10点	計画通り実施。 次年度も継続して実施。
毎週水曜日の水メーター確認	6 安全な水とトイレを世界中に	10点	毎週確実に実施され、結果を「見える化」メーターに反映している。 2011、12年に発生した漏水の発生の教訓を踏まえ、次年度も引き続き実施し、漏水発生時の早期発見に努める。
節水ポスターリニューアル	6 安全な水とトイレを世界中に	10点	計画通り実施。 次年度もその時期を踏まえ、リニューアルすることを計画。

Act  
見直し

## 水使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	水使用量のこれ以上の削減は無理かも知れないと思う。
指示	暖期の手洗いは、出来るだけ手洗い場横に設置した、雨水缶の水を使用してほしい。

## 化学物質(炭化水素)使用量の削減(目標値：洗浄袋数原単位(ℓ/袋))

### Plan 計画 中期環境経営目標

(単位: ℓ/袋)

年度	目標値	基準年度比
2018	2017年より洗浄槽の清掃、炭化水素の交換を実施することになり、従来との比較が困難になることから、今年度は現状把握としました。	—
2019		
2020		
2021		
2022		
基準年度	2018年度	
基準年度実績	—	

中期環境目標達成のために

炭化水素は、単価が高く、削減活動が推進できれば、かなり財務面でプラスに働きます。しかし、製品の品質に影響を与える部分であるため、削減一辺倒とはいきません。良品生産と使用量削減という両立が困難な課題に、あきらめずに挑戦していきます。

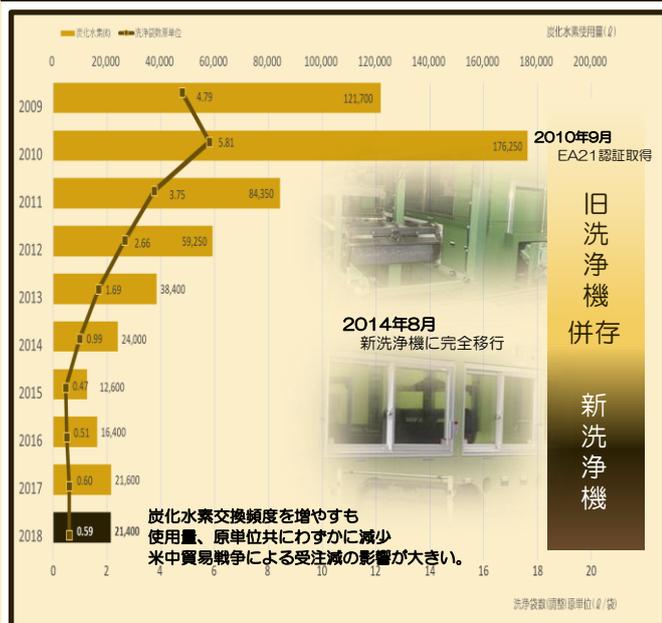
### Plan 計画 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の炭化水素使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 つくば地球の未来	斉藤 進
洗浄機の始業時点検及び定期メンテナンスを行う。	9 産品の質を高めよう	来 淳一郎 来 博行

炭化水素使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋)

### Do 実施 Check 確認 炭化水素使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容

#### 炭化水素使用量・原単位の推移と分析



#### 2018年度の結果分析

2018年度は、洗浄品質向上のため、洗浄槽の清掃頻度や炭化水素の交換の頻度を昨年度よりも増加させたにもかかわらず、使用量、原単位共にわずかに減少という結果となりました。これは、年度の後半より米中貿易戦争の影響を受け受注が減少したことを受け、大幅な生産調整を実施した影響によるものと考えられます。

#### 取組の評価と次年度以降の課題

**数値目標の達成度** 関連SDGs 12 つくば地球の未来  
-点(現状把握につき評価せず)

**メンテナンス実施** 関連SDGs 9 産品の質を高めよう  
10点(計画通り実施)

次年度も洗浄機のメンテナンスを基本施策に据え、取組を継続します。数値目標については、2018年度を基準年度とし、次年度はそこから原単位比△1%を削減の数値目標とします。

### Act 見直し 炭化水素使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	2016年12月に洗浄不良の問題が発生、2017年度は対策として、炭化水素を大量に使用した。
指示	2018年、洗浄力が安定したので、今後は少しずつ削減できるところは削減するように。

## 化学物質(ラタック)使用量の削減(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋))

### Plan 計画 中期環境経営目標

(単位: ℓ / 袋)

年度	目標値	基準年度比
2018	0.86	7%削減
2019	0.86	8%削減
2020	0.85	9%削減
2021	0.84	10%削減
2022	0.83	11%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	0.93 ℓ/袋	

中期環境目標達成のために  
プレス加工する際の潤滑油として使用。通常は工場内を循環させて使用しますが、一部加工が難しい製品については、新しい潤滑油を直接点滴して使用し、これが使用量の増加に大きくかかわってきます。従って、通常の削減活動に加え、加工技術の向上や材料の改良要請といった活動も続けていく必要があるようです。

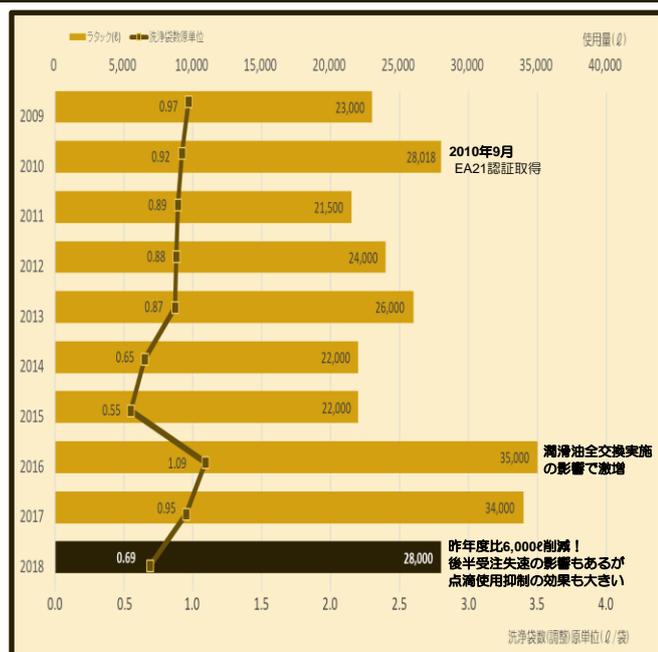
### Plan 計画 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月のラタック化合物使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費生活 (♻️)	来 淳一郎
オイルクリーニング等オイル再生利用の実験を行い、導入を検討する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう (🏭)	来 淳一郎

潤滑油使用量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋)  
※調整原単位算出方法については、24頁をご覧ください。

### Do 実施 Check 確認 潤滑油使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容

#### 潤滑油使用量・原単位の推移と分析



#### 2018年度の主な取組

右の写真の様に、潤滑油を天井からぶら下げた缶から点滴して使用する「新油点滴」。  
歩留まり向上は見込めるものの、これを行うことで、潤滑油の使用量は大幅に増加してしまいます。



2018年度は様々な工夫を施し、これを極限まで削減し、潤滑油の使用量削減に努めました。

#### 取組の評価と次年度の取組内容

数値目標の達成度 10点(原単位目標達成率125.95%)  
再生利用実験 5点(有効策は見つからないが、常に検討)  
目標達成のため、次年度は目標値を2010年度比△8%(今年度より更に△1%)とします。



### Act 見直し 潤滑油使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

代表者の評価	一部特殊な号機に新油を点滴することは、仕方ないことと思う。
指示	将来的には加工技術の向上により、潤滑油の使用が削減できるようにしてほしい。

## 化学物質(有害物質取扱禁止及び適正管理)に関する取組

### Plan 2018年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
サプライヤーに対しアンケートを実施し、不使用証明書、SDS更新の要否等を確認する。	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	石原 隆雅
入手したSDS最新版のコピーを、その化学物質の使用場所に設置する。	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	宮本 哲次
社内にて使用する化学物質が法令類に非該当であるかを調査する。	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	石原 隆雅
社内にて使用する化学物質のリスクアセスメントを実施する。	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	山崎 洋幸
社内使用化学物質の性状、有害性及び事故時の対応に関する教育(年3回)を実施する。	4 質の高い教育をみんなに, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 12 持続可能な消費と生産, 16 平和と公正	宮本 哲次

### Do 2018年度の主な取組

#### その1.使用場所にSDSを常備

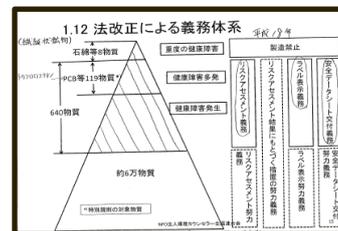
通常業務時に作業者が常に確認することが出来るように、化学物質取扱場所にSDSを常備。いつでも参照できる環境を整えました。



炭化水素のSDSファイル (洗浄場)

#### その2.化学物質教育

2017年、山崎係長(製造部)が化学物質リスクアセスメント講習を受講、修了。そこでの学びの成果を社内に還元してもらいました。



講義資料のコピーが教材

### Check 取組の評価と次年度の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
サプライヤーアンケートによる確認	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	10点	2018年4月に実施。次年度も同様の確認作業を行う。
SDS最新版のコピーを使用場所に設置	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	10点	対応完了。次年度もSDSの更新を確認する。
社内使用化学物質の法令との照合作業実施	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	10点	サプライヤーアンケート時に実施。次年度も同様の確認作業を行う。
社内使用化学物質のリスクアセスメント実施	11 持続可能な都市とコミュニティ, 16 平和と公正	0点	実施せず(教育のみ)。次年度は勉強しながら実施。
缶開けルールの啓発	4 質の高い教育をみんなに, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 12 持続可能な消費と生産, 16 平和と公正	10点	計画3回、計画通り実施。次年度は担当者変更の上年2回実施。

### Act 代表者の評価・指示

代表者の評価	化学物質取組のメンバーは、さすがに我社のエースが揃っている感がある。
指示	この取組に粗相があると、会社に大きな影響が生じる。くれぐれも慎重に行うこと。

## グリーン調達(目標値：グリーン調達率(%))

Plan  
計画

### 中期環境経営目標

年度	目標値
2018	82%以上
2019	83%以上
2020	84%以上
2021	85%以上
2022	86%以上

中期環境目標達成のために一昨年度の大幅未達を受け、大規模な是正処置を実施したことが奏功したのか、前年度は晴れて目標達成となりました。良い流れを維持できるよう、引き続き担当者と連携し、取組を進めていきます。

Plan  
計画

### 2018年度環境経営計画とSDGs

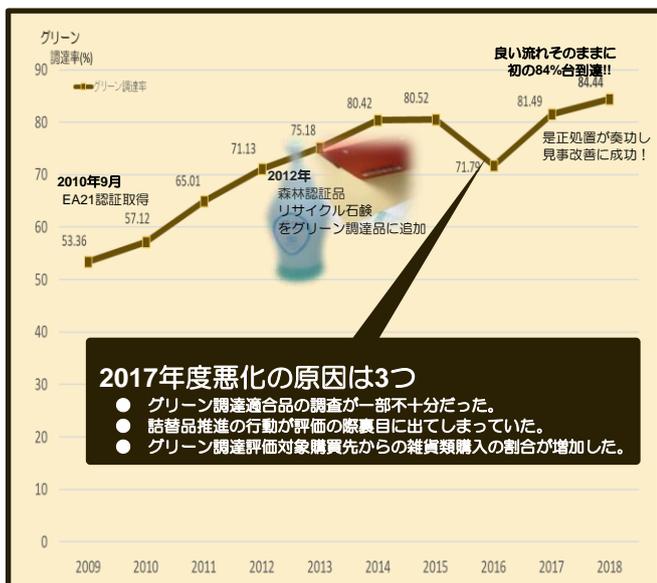
項目	SDGs	実施責任者
毎月のグリーン調達率を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費と生産	福田 則子
物品購入時、カタログによりグリーン調達品を選別し、優先購入する。	12 持続可能な消費と生産	福田 則子

Do  
実施

Check  
確認

### グリーン調達率の推移、取組の評価と次年度の取組内容

#### 潤滑油使用量・原単位の推移と分析



その際の決定事項とは

- ① 通常使いの筆記具は、ボールペンからシャープペンシルにシフト。
- ② ノート、マジック等については、是正処置時に見つけたグリーン調達適合品を優先購入、優先使用。
- ③ 通常購入先から調達が困難なエコマーク付き固形石鹸は、製造メーカー(EA21の活動を通じて知り合ったメーカー様)から直接購入。



上記3点に特に注意を払った一年でした。

#### 取組の評価、次年度以降の取組内容

数値目標の達成度	関連SDGs	12 持続可能な消費と生産
10点(目標81.49%、結果84.44%)		
適合品の優先購入	関連SDGs	12 持続可能な消費と生産
10点 意識的に確実に実施できていた。		
次年度は、目標値をグリーン調達率82%以上として、取組を継続します。		

Act  
見直し

### 代表者の評価・指示

代表者の評価	替芯のエコマークの有無で、ボールペンからシャープペンシルに替えるところは全く細い気の遣い方だと感心する。
指示	グリーン調達するものは事務用品等安価なものが多いため、多少の値の違いならグリーン調達の対象物を選ぶこと。

## その他の環境活動

### Plan 2018年度環境経営計画とSDGs

	項目	SDGs	実施責任者
環境への取組の継続的な改善・活動の質の維持・向上	各項目担当から提案されるエコ替え提案について検討し、効果的且つ導入可能と判断されるものについては、その導入を決定する。	 	来 満 来 昌伸
	各種環境系、労務系資格の案内と資格取得に関する支援を行う。		来 満 来 昌伸
	省エネ診断を受診する。	  	来 昌伸 有山 浩一郎
	QC会議時にeco検定講座を実施する。		来 博行
	各種環境系セミナー情報を入手し、その案内を行う。		石原 隆雅
環境教育・訓練の実施	製造現場の作業に関連付けた形での環境教育を毎月実施する。		来 淳一郎
	2F作業現場の業務に即した環境教育を毎月実施する。		佐々木 勝
	備品に対するコスト意識、節約意識向上のため、各備品の価格表記を行い、その管理を徹底する。	 	大小堀 レオニラ
生物多様性に関する取組	生物多様性と持続可能な利用のための教育を行う。	   	石原 隆雅
	社内使用の紙製品は原則森林認証品を使用するものとし、切替がなされていないものについては順次切替を行う。	 	福田 則子
	会社に接する用水路にて定点撮影を行う。	  	石原 隆雅
	定点撮影の結果分析を行う。	   	石原 隆雅
地域貢献	八潮市防火安全協会主催の環境ボランティア活動に参加する。	  	来 昌伸
	QC会議時に環境ボランティア実施状況の報告を行う。	 	ボランティア参加者
	ペットボトルキャップの収集、寄付を通じた社会貢献活動を実施する。	  	来 博行

項目		SDGs	実施責任者
5 S の 徹 底	各グループ毎月1個以上の5S活動を実施する。		全従業員
	各グループの5Sの実施状況の記録及び掲示を行い、5S活動の活性化を推進する。		石原 隆雅
項目		SDGs	実施責任者
S D G s	SDGsに関する個人目標を策定し、その達成に向けて行動する。	✖	全従業員
	SDGsに関する情報発信及び啓発を行う。		石原 隆雅
項目		SDGs	実施責任者
情 報 開 示	当社環境経営レポート及び環境活動の状況をホームページにて公開する。		石原 隆雅

※SDGsの取組は、個人により異なります(「私のSDGs」(7~12頁)御参照下さい)。

## 来ハトメ環境トピックス2018

### ④「課題とチャンス」でその他の活動も充実

#### ~2018年度に追加された新たな取組~

#### 当社環境(経営)方針の歴史

当社で環境方針が産声を上げたのは、EA21認証取得(2010年9月)よりも1年近く前の2009年10月。環境活動の「か」の字も分からぬ頃にこれだけの環境方針を作り上げた、当時の社長(現、会長)の見識の高さに身内ながら恐れ入ったことはひとまず置いておくとして、その改訂履歴を見てみると、

2011年3月 化学物質使用量の削減を追加  
 「これが抜けているのは問題」と審査人の先生から指摘を頂き、追加したものです

2012年3月 生物多様性関連、地域貢献(ボランティア)を追加

2014年3月 5Sの取組を追加

といった具合に3回の改訂(追加)を経て、だんだんと内容が充実して(くどさを増して)いったのです。

そして、ガイドライン改訂にて追加された要求事項2「代表者による経営における課題とチャンスの明確化」によって抽出された課題とチャン

スにより(のせいで)、行動指針として新たに4つの取組が追加され、当社の環境経営方針はより一層内容が濃いものに(くどいものに)進化を遂げる(?)こととなりました。

#### 追加された「4つの行動指針」

- ① 二酸化炭素排出量の長期目標  
 (2030年に2013年度比50%削減)  
 パリ協定を受けて国が示した「地球温暖化対策計画」を受けて当社でも策定(因みに国は2030年度までに2013年度比26%削減)。実は2016年度からこの目標を掲げての取組を始めていますが、今回の改訂に合わせ、環境経営方針にも明文化しました。
- ② 化学物質の削減と適正管理  
 以前は「削減」のみでしたが、当社顧客が化学物質の適正管理を強く要求されることから「適正管理」が抽出され、明文化。
- ③ 活動の質の維持・向上
- ④ SDGsの取組へのコミット  
 今回初めて明文化。次頁にてこの取組の一例を御紹介します。

Do  
実施

## その他の環境活動の主な取組

### eco検定講座(継続的改善・毎月1回実施)

過去のeco検定の出題傾向を踏まえつつ、旬の環境トピックを扱う名物講座。

毎月1回のペースを全く崩すことなく、毎回手作りの資料を準備し、講義する担当者の姿勢は、環境教育を担当する他の社員の良いお手本にもなっています。

#### レジ袋の有料化

環境省は10月19日、レジ袋の有料化の義務付けを含んだ、使い捨てプラスチックの削減戦略の素案を示した。  
スーパーやコンビニなどの小売業を対象に、2020年度以降の義務化を目指す。  
プラスチックによる海洋汚染が深刻化する中、レジ袋を含む総合的な対策を進めて汚染防止につなげる。

プラスチックごみの国内年間排出量 … 約900万トン

約400万トンは、使い捨てプラスチック(包装容器、ペットボトル、レジ袋など)。  
約3割は、家庭などから出る一般廃棄物。

使い捨てプラスチックの排出量を2030年までに25%減らす。

環境省は素案の中で、使い捨てプラスチックの削減目標を初めて示した。

レジ袋の国内年間使用数 … 約450億枚

内、約3割をコンビニが占める。

### 生物多様性クイズ(生物多様性・年7回実施)

以前は講義形式で進められた当講座。難しくすぎてつらいとの声を受け、2016年より、受講者に受け入れられやすいクイズ形式にシフトしました。

しかしこれ、ただのクイズではありません。クイズを解き続ければ、生物多様性関連の書籍を1冊読破したのと同じ効果が得られるように、工夫されているのです(書籍から内容を拝借しているので、自然とそうなるだけではありませんが……)。

そんなこととはつゆ知らず、ただクイズに耽る当社従業員。知らぬ間に、皆、生物多様性関連の書籍3冊程、読破したのと同じ効果を得ていたりして……。

#### クイズでマスター!生物多様性~生物多様性通選手権 第18回~

(答えは全て下の回答欄にマークしてください(時間:3分))

##### 第55問(復習問題、2ポイント)

地球上にいる生物の種類は、100万種よりも多い。

① ○ ② ×

##### 第56問

里地里山は、日本にしか存在しない。

① ○ ② ×

##### 第57問

日本政府は、COP10を契機として、国際機関や各国と連携しながら、自然資源の持続可能な利用により、自然共生社会を実現していく取組である( )を効果的に推進するための枠組みを設立し、その参加を広く呼び掛けている。

- ① ワシントン条約
- ② SATOYAMA イニシアチブ
- ③ モントリオール議定書
- ④ トップランナー制度
- ⑤ エコアクション21

### 「月刊 まいにちSDGs」の発行(SDGs・毎月発行)

2017年9月にスタートした当社のSDGsの取組。従来より行っていた環境活動をSDGsに紐づけ(活動をSDGsの目標にあてはめること)し、環境活動=SDGsの取組とすることと、従業員紹介(12頁)のにて詳しく触れさせて頂いた「私のSDGs」、そしてこの従業員向SDGs情報誌「月刊 毎日SDGs」の発行が当社のSDGsの取組3本柱。

月刊誌ともなると、当然のことながら毎月必ず発行しなければならない訳ですが、それが割と大変。特に、レポートの作成と被ったりなんかすると、地獄です……。

それでも、SDGsが従業員にとって、より身近なものになることを信じ、月刊ペース、来年度も守り続けようと思います。

#### 月刊 まいにちSDGs

~SDGsを使いこなす企業となるための情報誌~

2018年9月12日発行(通巻第10号)

来ハトメ工業株式会社EA21事務局 SDGs推進委員発行

##### SDGsの5ステップ

おさらい~SDGsの5ステップ~  
4月より解説を始めたSDGsの5ステップの第6回目。

SDGsを使いこなせるようになるために非常に重要な事項なので、まだまだ復習。

- ステップ1「SDGsを理解する」
- ステップ2「優先課題を決定する」
- ステップ3「目標を設定する」
- ステップ4「経営へ統合する」
- ステップ5「報告とコミュニケーションを行う」

今回はSDGsの5ステップの内ステップ4について、解説することにする。

##### ステップ4のポイント

ステップ3にてSDGsの17のゴールと169のターゲットから抽出した目標を、企業の各部門の活動に落とし込み、具体的な活動を実施することで、SDGsを企業の具体的な発展に生かしていくのが、このステップ4。

##### 今月のアイコン「目標9」

産業と技術革新の基盤をつくろう



強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

例えば

- 不良削減のための技術構築
- 中小製造業の資金的バックアップ
- 新技術の導入
- 研究開発部門の強化
- 生産技術の向上

長年、当社を悩ませる生産中の不良品発生。これを製造技術の工夫や、金型の改良により克服するといったことは、まさにこの「目標9」にあたる部分。

## ウェブサイトにて環境経営レポート公開(情報開示)

当社ホームページ

URL <http://www.rai-hatome.co.jp>

にアクセス頂き、トップページのニュース(右赤囲み部)から当社レポートをご覧頂けます。

当社ホームページでは、活動開始時のものから最新版に至るまで、全ての環境活動レポートをご覧頂くことが可能です。



## 「CSR図書館.net」にて環境経営レポート公開(情報開示)

大企業を中心に670社、4,300冊以上の環境報告書が閲覧可能な「CSR図書館.net」。そちらにも、当社の環境活動(経営)レポート、絶賛公開中!

URL <http://csr-toshokan.net>

にアクセス頂き、報告書検索(赤囲み部分)に「来ハトメ工業株式会社」と入力し、検索ボタンをクリックして頂くと、当社環境活動レポートが閲覧頂けます。

こちらのサイトでは、2015年～2018年までに発行した当社環境活動レポートをご覧頂けます。



## 来ハトメ環境トピックス2018

### ◎当社発「私のSDGs」布教のチャンス!

### ～セミナー講演奮闘記～

#### 頂いた3度も「大チャンス」

SDGsに中小企業としては早くから取組を開始した当社。早くから取り組んでいるとたまにはいいこともあるもので、例えばセミナー講演の御依頼を頂くことなども、その一つ。

2018年度は、驚くなかれ、1月の環境省主催シンポジウム(国連大学)をはじめ、そんな大チャンス、なんと3度も頂くことが出来ました。

#### SDGs事始め～みんな初めは初心者だから～

専門家がない、外国出身従業員が多い、中小企業で資金力に乏しい。そんな当社が果敢に手探りでSDGsに挑む姿と、

これからSDGsを始める方々に向けて「4つのメッセージ」をお示しする、という内容の講演をさせて頂きました。



講演資料の表紙

#### 当社からの「4つのメッセージ」

- ① 背伸び、していませんか?  
「中小企業だから……」なんて尻込みするのはもったいない。知識を外に求め、セミナーや各種表彰制度に参加することを強くお勧めしました(当社もこうして、SDGsを知りました)。
- ② 急がば、回れ  
SDGsを始める前に、まずは自社の現状を分析して、自社に合った「入口の形」を探ることをお勧めしました(因みに「私のSDGs」が当社のSDGsの「入口の形」に他なりません)。
- ③ まずは、体感!!  
SDGsを私事とするために、SDGsを一人ひとりに体感してもらい、そこから様々な成功(失敗)体験を味わってもらっては?という提案をしました(これこそ、「私のSDGs」の基本の考え方です)。
- ③ 「見える、見せる」SDGs  
SDGsに取り組んだ努力の成果、どうせならレポートなどでカッコ良く示してアピール成功!!っていきたいな～……。という自分の願望で、最後を締めくくりました。

# 8.PDCAで見る2018年度環境活動



来ハトメ工業株式会社

Check  
確認

## その他の環境活動の取組の評価と次年度の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
エコ替え提案の提案と導入	 	0点	省エネ診断等機会はあったが実施されず。次年度も目標はそのまま残す。
環境系、労務系資格取得支援		10点	テキスト代、受験料、交通費を支援。次年度も継続。
省エネ診断の受診	  	10点	2018年12月に受診。次年度も診断を受ける予定。
eco検定講座の実施		10点	目標12回、実施12回。次年度も12回(月1回)の実施を計画。
環境系セミナー情報入手と案内		3点	案内をすれど参加の積極性には欠ける。諦めずに次年度も案内を行う。
製造現場の作業に関連付けた環境教育実施		10点	毎月実施。次年度も毎月実施を計画。
2F作業現場の業務に即した環境教育の実施		10点	毎月実施。次年度も毎月実施を計画。
備品の価格表記と管理の徹底	 	5点	備品持ち出し時記入はされているが、確認作業に課題。次年度は確認に注力する。
生物多様性に関する教育	   	7点	目標12回実施7回。次年度は4回実施予定。
社内使用紙製品の森林認証品への切替	 	10点	確実に実施されている。意識も高い。次年度も継続して実施。
用水路における定点撮影	  	10点	年4回確実に実施。次年度も継続。
定点撮影の結果分析	   	0点	実行されず。知識必要で難しい。次年度も計画するも、学習が必要。
八潮市防火安全協会主催環境ボランティアへの参加	  	10点	ローテーションにて毎月参加。次年度も7人にて継続。
環境ボランティア実施状況報告	 	10点	毎月実施された。次年度はただの報告に留めず、参加者増に繋げることが目標。
ペットボトルキャップ収集・寄付	  	10点	全ての従業員が協力。次年度も継続。
5S活動の実施	 	10点	毎月確実に実施されている。次年度は事務局を刷新する予定。
5S活動の記録及び掲示による活動活性化推進	 	10点	活動掲示も確実に実施されている。次年度は新事務局に引き継ぎ、継続。
SDGsに関する個人目標への取組		7.8点	「私のSDGs」参照。 2019年度版「私のSDGs」絶賛実施中。
SDGsに関する情報発信及び啓発活動		10点	情報誌の毎月発行とクイズを実施。情報誌は次年度も毎月発行予定。
環境経営レポートのウェブサイトにおける公開		10点	2018年8月に公開。次年度も中間審査終了後に公開予定。

Act  
見直し

### 代表者の評価・指示

代表者の評価	社員が講師を務める環境教育は、準備に時間がかかると思われ、頭が下がる思いで聞いている。
指示	仕事の傍らにやることであるので、環境教育はあまり無理せずに気長に少しずつ続けてほしい。

## Check 2018年度環境経営計画SDGs評価点採点結果

この頁は、当レポート17～47頁に記載した取組毎のSDGs評価点を集計したものです。取組内に複数のSDGsがあるものについては評価点はどちらも同じ点数として集計し、最後にそれぞれの平均点を算出し2018年度のSDGsの評価点としました。

NO.	アイコン	当社の主な取組	掲載頁	採点結果	※評価点
1		ペットボトルキャップ収集	43	10.0 (10.0)	10.0 (10.0)
2		取組なし	—	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
3		災害用物資備蓄 エコドライブ教育	22 32	8.3 (10.0)	8.3 (10.0)
4		教育(全般) 緊急事態訓練	21~44 21,22	8.0 (8.6)	8.0 (8.6)
5		5S	44	10.0 (10.0)	10.0 (10.0)
6		訓練(潤滑油漏洩)、教育(水)、 生物多様性(定点撮影)	22,38 43	8.9 (7.4)	8.9 (7.4)
7		教育(エコドライブ) 省エネ診断	32 47	2.5 (8.6)	2.5 (8.6)
8		取組なし	—	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
9		廃アルミ、 化学物質(使用機器の点検)	36 39,40	8.6 (7.6)	8.6 (7.6)
10		取組なし	—	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
11		エコドライブ 化学物質(教育、SDS管理)	32 41	8.4 (10.0)	8.4 (10.0)
12		廃棄物排出(33~36) CSR	35,36 47	7.4 (9.0)	7.4 (9.0)
13		エネルギー	27~32	7.8 (7.8)	7.8 (7.8)
14		教育(生物多様性)	43	5.7 (8.0)	5.7 (8.0)
15		教育(生物多様性) 生物多様性(認証紙使用)	43 43	7.8 (8.0)	7.8 (8.0)
16		法令遵守 教育(化学物質、生物多様性)	17~20 41,47	8.6 (9.6)	8.6 (9.6)
17		環境ボランティア ペットボトルキャップ収集	43 43	10.0 (0.0)	10.0 (0.0)
<b>2018年度評価点平均(前年度)</b>					<b>7.0 (6.6)</b>

※評価点の( )内の数字は前年度実績を表します。

## SDGs評価点の振り返りと次年度以降の課題

### SDGs評価点の振り返り

数字上は昨年度より0.4ポイント向上という結果となりました。しかし、これは今年度からボランティア関連の取組などを17番として評価した影響が大きく、実際には、教育・訓練の未実施等により大きく数字を落としたものが多く、大いに反省すべき結果であると言えます。

### 次年度以降の課題

数字を落とした部分は、各種環境教育における、実施回数不足の減点によるものがほとんど。実施日を担当者に一任したり、計画自体がタイトすぎたことが主な原因。次年度は、それらを解決し、SDGs評価点の更なる向上を目指します。

Act  
見直し

## 1) 全体的な感想

「とにかくよくやるなー！」というのが全体的な感想。

環境管理責任者の励まし方、おだて方が上手いのだろうか、環境活動への向き合い方が、少しずつ「様」になってきつつある。

今後も会社が続く限り、この活動は続くのだから、無理をせず、コツコツと、少しずつ上を見ながら進めて欲しい。

個別の項目毎の評価と指示内容については、22～47頁を参照下さい。

Act  
見直し

## 2) 指示

### ① 環境経営方針

2019年3月に、全従業員を対象として、当社の課題とチャンスのアンケートを実施した際、ある従業員から、昨年度当社駐車場にて発生した労災事故(従業員の単独転倒事故)に関連して「労働安全衛生にも力を入れるべき」という意見が寄せられた。

本件については、今後取り組むべき当社の重要な課題であると考え、2019年3月1日、環境経営方針を一部改訂し、5Sへの取組を誓約した7.に「リスク」という文言を新たに追加した。

これにより、当社環境経営方針は更に長文化することとなったが、かねてよりEA21審査員の先生から、「現行の環境経営方針をもっとスリム化すべき」との御指摘を頂戴している旨、環境管理責任者より報告を受けている。従って、審査員の先生のお話の内容次第では、環境経営方針の全面改訂を実施する必要があるとも考えている。

従って、環境管理責任者におかれては、今年度の中間審査における環境経営方針に関する審査員の先生の意見について、必ず報告のこと。

### ② 環境経営目標及び環境経営計画

2018年度は、不用品整理の影響による廃棄物排出量の激増や、教育・訓練未実施の項目が多発等の問題が散見された。

廃棄物については、不用品整理の実施という突発要因であること、それ以外の月の排出量は正常範囲であったことから、大きな問題ではないと考えるが、教育・訓練については、計画に無理があったこと、実施回数だけでなく実施日についても、環境管理責任者が各担当者に一任したこと等、環境管理責任者のミスと考えられる部分があり、大いに反省、改善が必要と考える。

以上を踏まえ、次年度以降の目標として、以下の指標を設定する。

環境への取組も、2019年9月を迎えると10年目に突入する。徐々に目標のハードルが高くなってきてはいるが、全従業員の創意工夫でかなりの成果が上がったこの取組。引続き、知恵を出し合いながら、更なる飛躍を期待したい。

CO<sub>2</sub>排出量の削減目標

項目	※削減目標				
	基準年度	2019年度	2020年度	2021年度	2030年度
CO <sub>2</sub> 排出量	2013年度	30.2%削減	32.0%削減	33.8%削減	50.0%削減

CO<sub>2</sub>排出量については、電力事業者変更の恩恵により、2018年度実績が9,856kg-CO<sub>2</sub>と、現時点で大幅達成に成功している。

しかし、2018年12月電力プラン変更問題の様に、プランの見直しによっては、一気に増加する危うさも孕んだ状態であるので、当目標については、変更せずそのまま運用していくものとする。

## ※(環境管理責任者追記)削減目標の根拠について

CO<sub>2</sub>排出量については、まず、国の地球温暖化対策計画(2016年5月策定)に基準年度とゴールを合わせる形で目標設定することとしました。

CO<sub>2</sub>排出量の目標値のスタートラインを、当社2015年度CO<sub>2</sub>排出量の実績値(251,377kg-CO<sub>2</sub>)とし、それを上記の目標年度(2030年)までの15年間で半減させることを目標に、取り組むこととしました。

尚、2018年度以降の各年度の目標値は、2013年度の実績値である326,337kg-CO<sub>2</sub>から2030年度までの目標値(163,168.5kg-CO<sub>2</sub>)を減算し、その数値をスタートから目標年までの年数(15年間)で均等割りすることで、各年の年間目標値として設定したものです。

## その他の項目削減目標

項目	基準年度	※削減目標		
		2019年度	2020年度	2021年度
電力	2015年度	原単位△4%	原単位△5%	原単位△6%
灯油	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
LPG	2010年度	原単位△9%	原単位△10%	原単位△11%
ガソリン	2018年度	総量△1%	総量△2%	総量△3%
事業系一般廃棄物	2014年度	総量△4%	総量△5%	総量△6%
産廃(廃ワエス)	2017年度	総量△1%	総量△2%	総量△3%
紙くず(リサイクル率)	2010年度	8%向上	9%向上	10%向上
廃アルミ	2010年度	原単位△9%	原単位△10%	原単位△11%
水	2015年度	原単位△3%	原単位△4%	原単位△5%
炭化水素	2017年度	原単位△2%	原単位△3%	原単位△4%
潤滑油	2010年度	原単位△7%	原単位△8%	原単位△9%
グリーン調達率	—	83%以上	84%以上	85%以上

## ※(環境管理責任者追記)削減目標について

- 昨年度未達の項目については、前年度(2018年度)の目標値をスライドしています。
- 削減目標に「原単位」とあるものの原単位については、下記の原単位を目標値とします。
  - 電力、廃アルミ、潤滑油(ラタック) : 洗浄袋数(調整)原単位  
算出方法につきましては当レポート24頁を御参照下さい。
  - 炭化水素 : 洗浄袋数(調整不要)原単位  
(使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋))
  - LPG、灯油 : 稼働日原単位  
(使用量÷稼働日(日))
  - 水 : 稼働時間原単位  
(使用量(m<sup>3</sup>)÷稼働時間(h))

## ③ 実施体制

実施体制の変更は必要なしと考える。

但し、環境管理責任者より報告があった担当者変更(LPG)、緊急事態(油漏出)、教育(化学物質)については、担当者変更を許可する。